

令和元年度 感染症危機管理研修会

日時：令和元年10月10日(木)11：10～11：40

場所：国立感染症研究所戸山庁舎共用第一会議室
(東京都新宿区戸山1-23-1)

麻疹排除維持と風疹排除に向けて

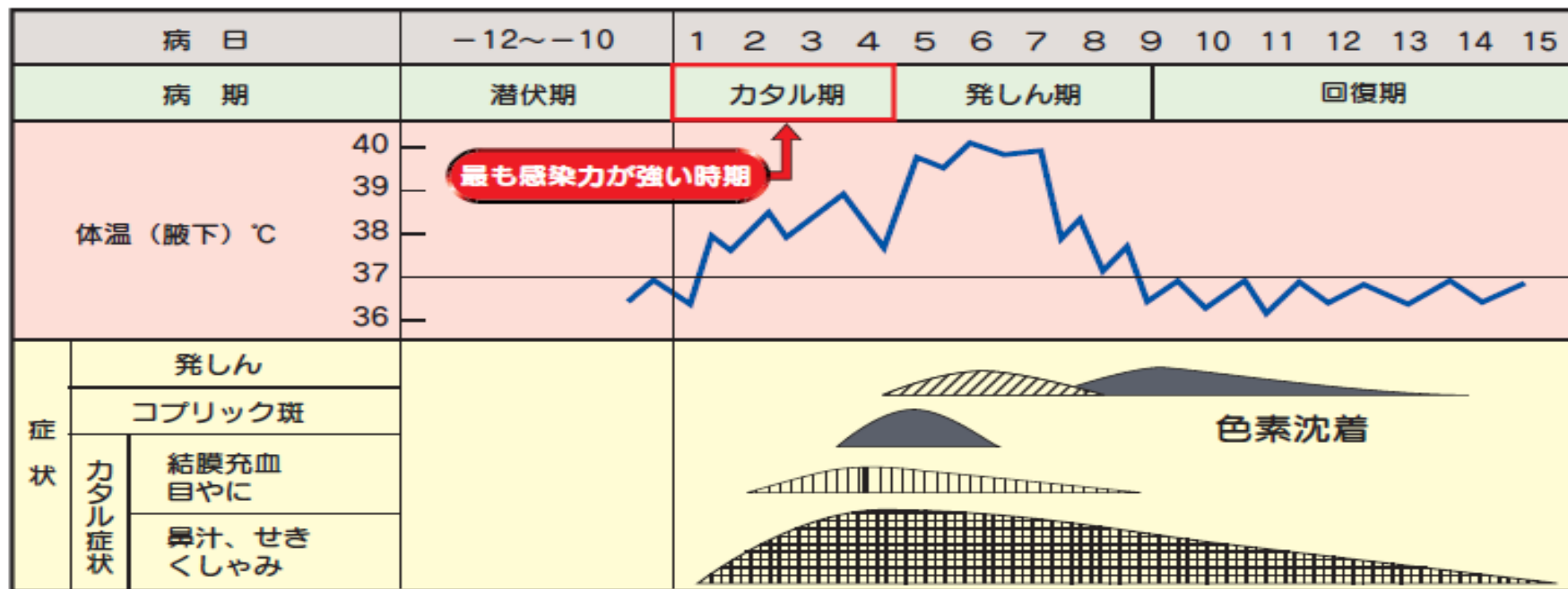
国立感染症研究所 感染症疫学センター

多屋 馨子 (たやけいこ)

ktaya@niid.go.jp

麻疹排除維持に向けて

麻疹（はしか）の症状



藤井良知、西村忠史、中村健：小児感染症学、第1版、南山堂、東京、1985、pp.14より改変

免疫機能低下状態が数週間にわたって続く

麻疹であることに気づかずに行動



感染を広げる

学校における麻疹対策ガイドライン

第二版 平成30年2月発行

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/school_201802.pdf

2008年



第二版



図 3a 麻疹（はしか）患者の年齢分布（平成 20 年）
平成 20 年感染症発生動向調査（平成 21 年 1 月 6 日現在）より

2017年

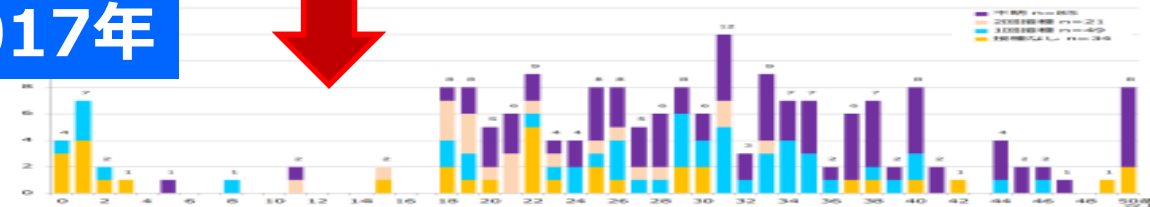


図 3b 麻疹（はしか）患者の年齢分布（平成 29 年）
平成 29 年感染症発生動向調査（平成 30 年 1 月 6 日現在）より

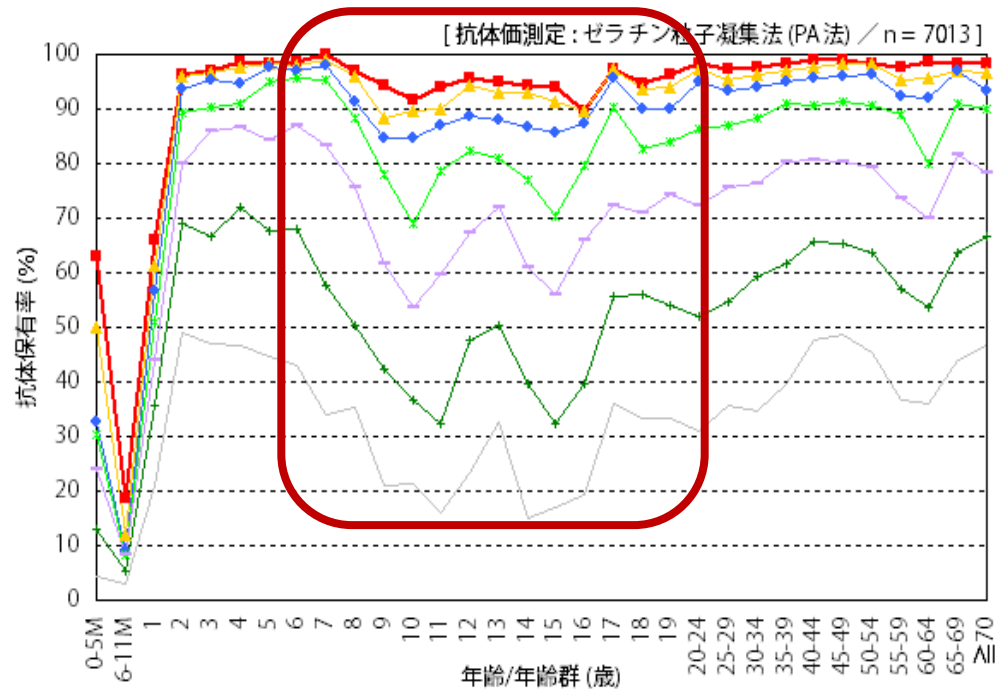
- ・ この10年間の麻疹患者年齢分布の変化
- ・ 職員の麻疹対策
- ・ 海外から児童生徒学生等を受け入れる場合

作成 国立感染症研究所感染症疫学センター
監修 文部科学省、厚生労働省
平成 30 年 2 月作成

年齢/年齢群別の麻疹抗体保有状況, 2008年^{※1}

～ 2008年度感染症流行予測調査より～

※1 主に2008年7～9月に採取された血清の測定結果



抗体価 ■ $\geq 1:16$ ▲ $\geq 1:32$ ● $\geq 1:64$ ✱ $\geq 1:128$ ◆ $\geq 1:256$ + $\geq 1:512$ × $\geq 1:1024$

流行予測2008

【2008年度麻疹感受性調査実施都道府県】

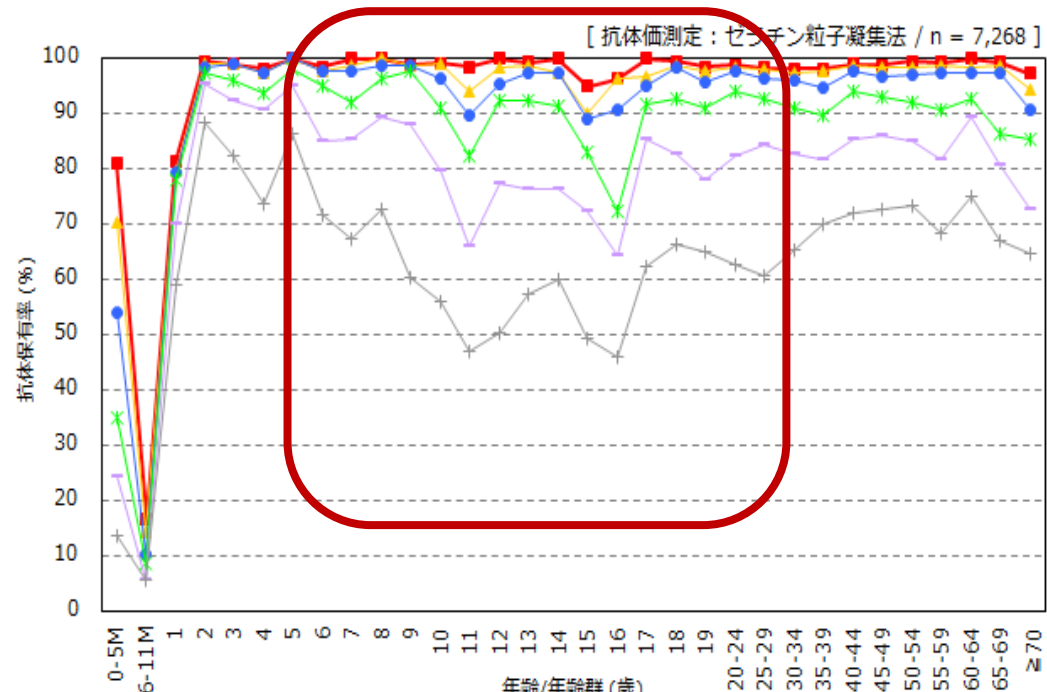
- 北海道, 宮城県, 山形県, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 千葉県, 東京都, 新潟県, 石川県, 長野県, 愛知県, 三重県, 京都府, 大阪府, 山口県, 香川県, 高知県, 福岡県, 佐賀県, 熊本県, 宮崎県, 沖縄県



年齢/年齢群別の麻疹抗体保有状況, 2018年^{※1}

～ 2018年度感染症流行予測調査より～

※1 主に2018年7～9月に採取された血清の測定結果：2019年5月現在暫定値



抗体価 ■ $\geq 1:16$ ▲ $\geq 1:32$ ● $\geq 1:64$ ✱ $\geq 1:128$ ◆ $\geq 1:256$ + $\geq 1:512$

流行予測2018

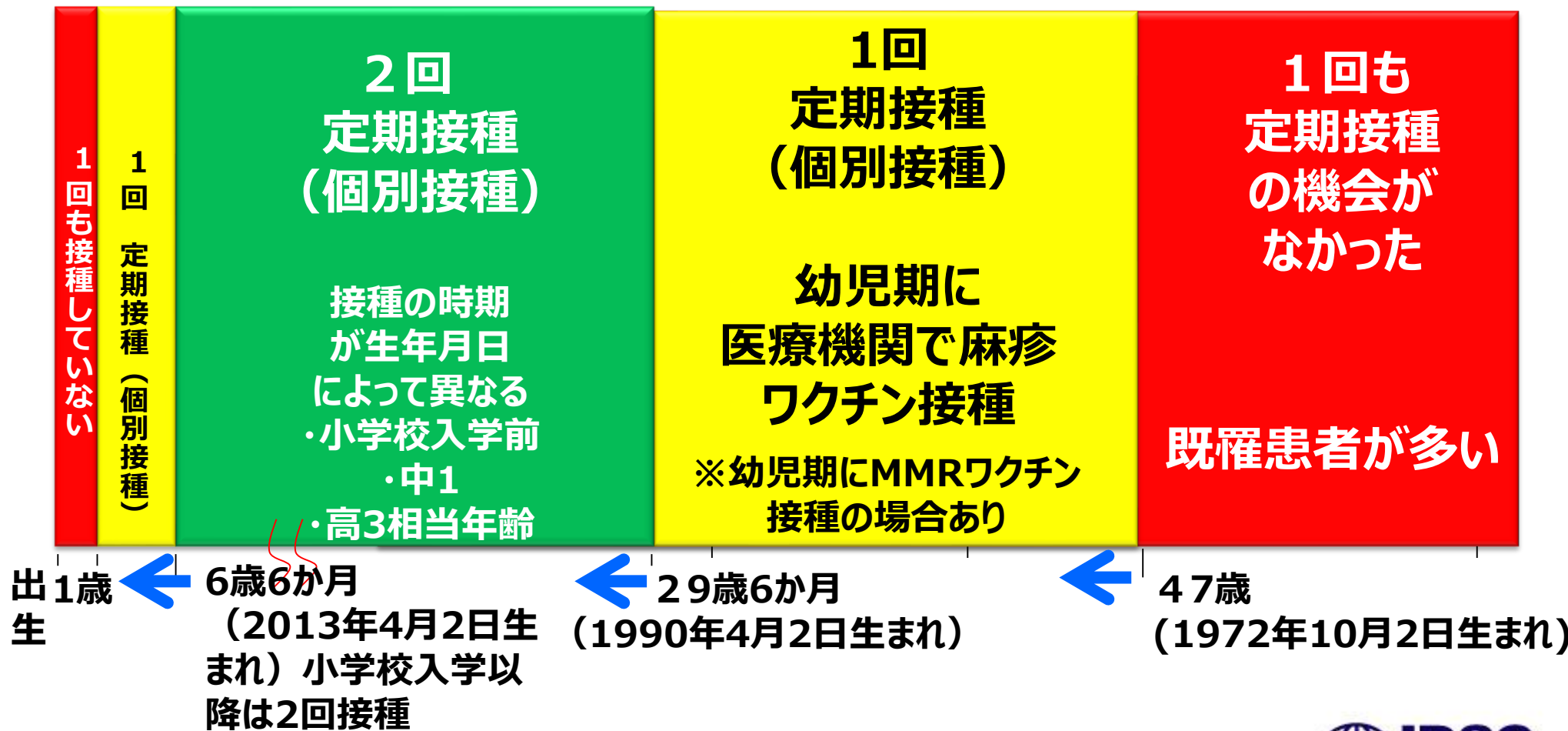
【2018年度麻疹感受性調査実施都道府県】

- 北海道, 宮城県, 山形県, 福島県, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 石川県, 長野県, 静岡県, 愛知県, 三重県, 京都府, 大阪府, 山口県, 高知県, 福岡県, 佐賀県, 宮崎県, 沖縄県

この10年で小児の抗体保有率は大きく変化

1978年10月に始まった麻疹含有ワクチンの 定期接種制度 (2019年10月1日現在の年齢)

※ MR混合ワクチン：麻疹風疹混合ワクチン、MMR混合ワクチン：麻疹風疹おたふくかぜ混合ワクチン



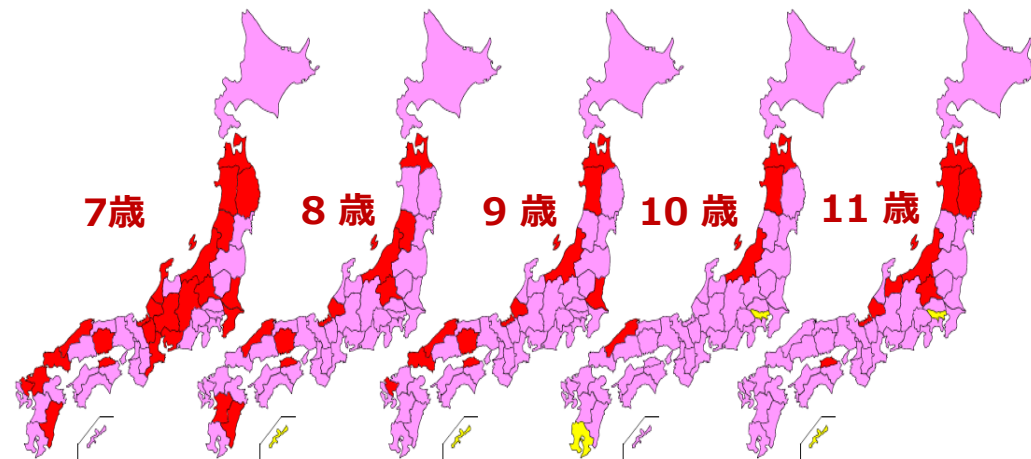
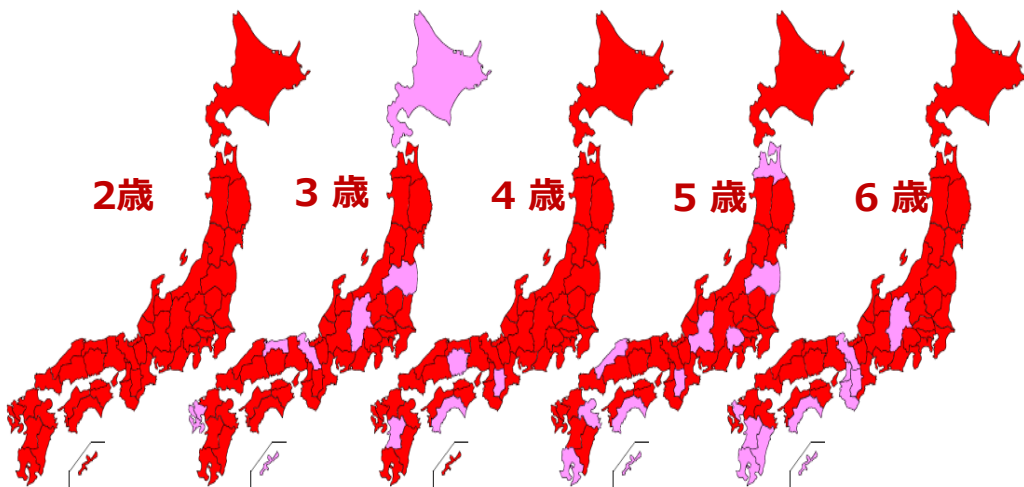
第1期、第2期麻疹、風疹ワクチン接種率

第1期 麻しん風しんワクチン接種状況

平成30年度 (2018年度)	平成29年度 (2017年度)	平成28年度 (2016年度)	平成27年度 (2015年度)	平成26年度 (2014年度)
麻しんワクチン接種率 98.5%	麻しんワクチン接種率 96.0%	麻しんワクチン接種率 97.2%	麻しんワクチン接種率 96.2%	麻しんワクチン接種率 96.4%
風しんワクチン接種率 98.5%	風しんワクチン接種率 96.0%	風しんワクチン接種率 97.2%	風しんワクチン接種率 96.2%	風しんワクチン接種率 96.4%

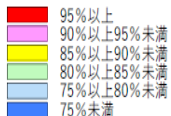
第2期 麻しん風しんワクチン接種状況

平成30年度 (2018年度)	平成29年度 (2017年度)	平成28年度 (2016年度)	平成27年度 (2015年度)	平成26年度 (2014年度)
麻しんワクチン接種率 94.6%	麻しんワクチン接種率 93.4%	麻しんワクチン接種率 93.1%	麻しんワクチン接種率 92.9%	麻しんワクチン接種率 93.3%
風しんワクチン接種率 94.6%	風しんワクチン接種率 93.4%	風しんワクチン接種率 93.1%	風しんワクチン接種率 92.9%	風しんワクチン接種率 93.3%



※麻しんワクチン接種率 (%)
= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

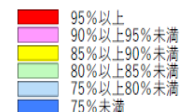
※風しんワクチン接種率 (%)
= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100



※地図は麻しんワクチン接種率に基づく色分け

※麻しんワクチン接種率 (%)
= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100

※風しんワクチン接種率 (%)
= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数)/接種対象者数×100



※地図は麻しんワクチン接種率に基づく色分け

2018年度第1期麻しん風しん予防接種率

表1-1 2018年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2019年3月31日現在、最終評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
 接種対象者数①は2018年10月1日現在の第1期対象者の数、②、③、④は2018年度における接種者の数
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

順位	都道府県	2018年度 第1期 2018年4月1日～2019年3月31日					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (② + ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (② + ④) / ① × 100
		95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満	
		第1期					
	合計	967,768	953,063	52	41	98.5	98.5
1	福岡県	43,516	43,947	4	2	101.0	101.0
2	石川県	8,828	8,878	1	0	100.6	100.6
3	高知県	4,780	4,790	0	0	100.2	100.2
4	群馬県	13,956	13,942	1	0	99.9	99.9
5	富山県	7,243	7,215	0	0	99.6	99.6
	福井県	6,029	6,002	0	0	99.6	99.6
	神奈川県	69,878	69,524	3	7	99.5	99.5
7	山口県	9,474	9,430	0	0	99.5	99.5
	長崎県	10,599	10,541	0	2	99.5	99.5
10	三重県	13,250	13,166	0	0	99.4	99.4
	徳島県	5,130	5,100	0	0	99.4	99.4
	熊本県	14,706	14,624	0	0	99.4	99.4
13	茨城県	21,044	20,888	1	0	99.3	99.3
	大阪府	67,504	67,046	2	4	99.3	99.3
15	京都府	18,816	18,637	3	2	99.1	99.1
16	福島県	13,287	13,146	0	0	98.9	98.9
17	秋田県	5,449	5,386	0	0	98.8	98.8
18	岩手県	8,278	8,170	0	0	98.7	98.7
	新潟県	15,186	14,991	0	0	98.7	98.7
20	愛知県	64,769	63,841	1	2	98.6	98.6
	鳥取県	4,339	4,279	0	0	98.6	98.6
22	宮城県	16,861	16,603	0	0	98.5	98.5
23	静岡県	27,163	26,734	0	1	98.4	98.4
	佐賀県	6,700	6,590	0	0	98.4	98.4
25	山形県	7,273	7,147	0	0	98.3	98.3
	和歌山県	6,548	6,439	0	0	98.3	98.3
27	愛媛県	9,683	9,507	0	0	98.2	98.2
	北海道	34,232	33,551	2	1	98.0	98.0
28	北埼玉県	55,957	54,830	0	0	98.0	98.0
	千葉県	46,688	45,770	0	0	98.0	98.0
32	岡山県	15,168	14,851	15	10	98.0	98.0
	大分県	8,690	8,511	0	0	97.9	97.9
	宮崎県	8,890	8,703	0	1	97.9	97.9
	青森県	8,107	7,925	0	0	97.8	97.8
34	東京都	110,919	108,451	5	1	97.8	97.8
	広島県	22,580	22,090	2	0	97.8	97.8
37	兵庫県	42,807	41,819	2	1	97.7	97.7
38	奈良県	9,321	9,090	0	0	97.5	97.5
39	鹿児島県	13,423	13,068	1	0	97.4	97.4
40	山梨県	5,857	5,700	1	0	97.3	97.3
	岐阜県	14,716	14,314	1	1	97.3	97.3
42	長野県	14,807	14,394	3	2	97.2	97.2
	島根県	5,215	5,067	0	0	97.2	97.2
44	香川県	7,483	7,269	0	0	97.1	97.1
45	栃木県	14,500	14,063	0	0	97.0	97.0
46	滋賀県	12,012	11,603	3	3	96.6	96.6
47	沖縄県	16,107	15,431	1	1	95.8	95.8

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2018年度第2期麻しん風しん予防接種率

表1-2 2018年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2019年3月31日現在、最終評価

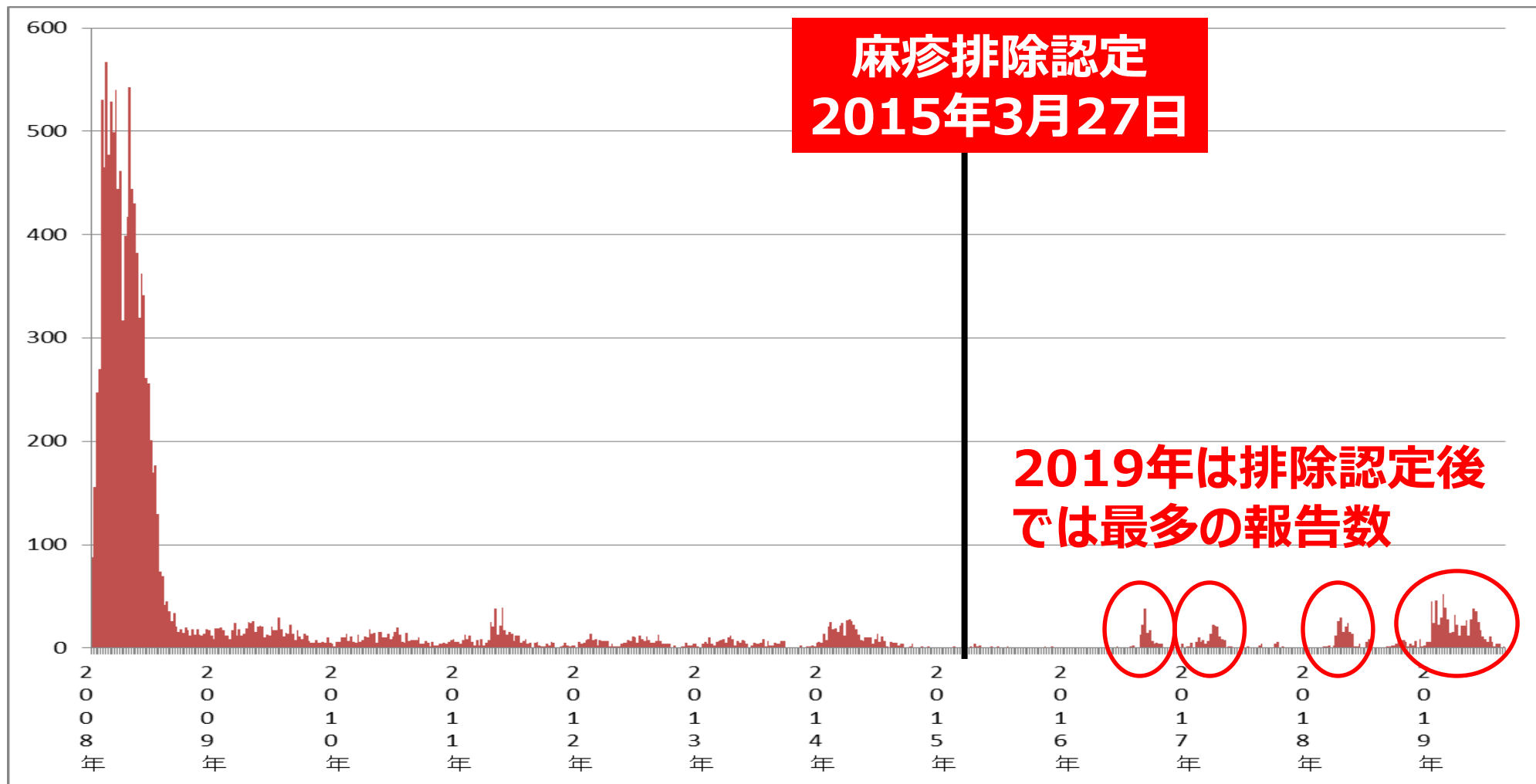
順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
 接種対象者数①は2018年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2018年度における接種者の数
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

順位	都道府県	2018年度 第2期 2018年4月1日～2019年3月31日					
		95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満	
		第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (② + ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (② + ④) / ① × 100
	合計	1,045,266	988,437	29	19	94.6	94.6
1	群馬県	15,556	14,989	0	0	96.4	96.4
2	秋田県	6,453	6,207	1	1	96.2	96.2
	福井県	6,616	6,367	0	1	96.2	96.3
4	岡山県	16,307	15,658	0	0	96.0	96.0
	香川県	8,237	7,909	0	0	96.0	96.0
6	茨城県	23,541	22,585	0	0	95.9	95.9
7	山形県	8,232	7,877	0	0	95.7	95.7
8	愛知県	67,719	64,734	0	2	95.6	95.6
	三重県	15,093	14,421	3	1	95.6	95.6
10	青森県	9,020	8,612	0	0	95.5	95.5
	滋賀県	13,483	12,870	1	0	95.5	95.5
12	新潟県	17,391	16,597	0	0	95.4	95.4
	佐賀県	7,499	7,157	0	0	95.4	95.4
	岩手県	9,353	8,911	0	0	95.3	95.3
14	福岡県	45,991	43,806	1	0	95.3	95.2
	宮崎県	9,735	9,277	0	0	95.3	95.3
	長野県	16,860	16,051	0	0	95.2	95.2
17	岐阜県	17,113	16,293	0	0	95.2	95.2
	島根県	5,722	5,446	0	0	95.2	95.2
20	千葉県	50,458	47,981	1	0	95.1	95.1
	石川県	9,511	9,045	1	1	95.1	95.1
	山口県	10,851	10,317	0	0	95.1	95.1
23	神奈川県	75,766	71,900	6	6	94.9	94.9
	富山県	7,949	7,545	0	0	94.9	94.9
	奈良県	10,917	10,353	0	0	94.8	94.8
25	和歌山県	7,476	7,089	0	0	94.8	94.8
	広島県	24,907	23,610	1	0	94.8	94.8
	大分県	9,627	9,123	0	0	94.8	94.8
29	鳥取県	4,681	4,431	0	0	94.7	94.7
30	静岡県	30,922	29,225	1	1	94.5	94.5
	栃木県	16,023	15,123	0	0	94.4	94.4
31	埼玉県	60,363	56,994	2	2	94.4	94.4
	大阪府	71,669	67,674	2	0	94.4	94.4
	兵庫県	46,901	44,294	2	0	94.4	94.4
35	愛媛県	11,012	10,368	0	0	94.2	94.2
36	徳島県	5,762	5,424	0	0	94.1	94.1
	高知県	5,264	4,951	0	0	94.1	94.1
38	宮城県	19,115	17,913	0	0	93.7	93.7
39	熊本県	16,011	14,988	0	0	93.6	93.6
40	東京都	107,091	100,072	5	2	93.5	93.4
	東京都府	20,309	18,994	1	1	93.5	93.5
42	福島県	14,035	13,105	1	1	93.4	93.4
43	沖縄県	17,019	15,861	1	1	93.2	93.2
44	北海道	38,402	35,704	0	0	93.0	93.0
45	長崎県	11,664	10,767	0	0	92.3	92.3
46	山梨県	6,521	5,984	0	0	91.8	91.8
47	鹿児島県	15,119	13,835	0	0	91.5	91.5

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2008年第1週～2019年第34週 週別麻疹報告数 (感染症発生動向調査より：2018～2019年は暫定値)

麻疹報告数
(人)



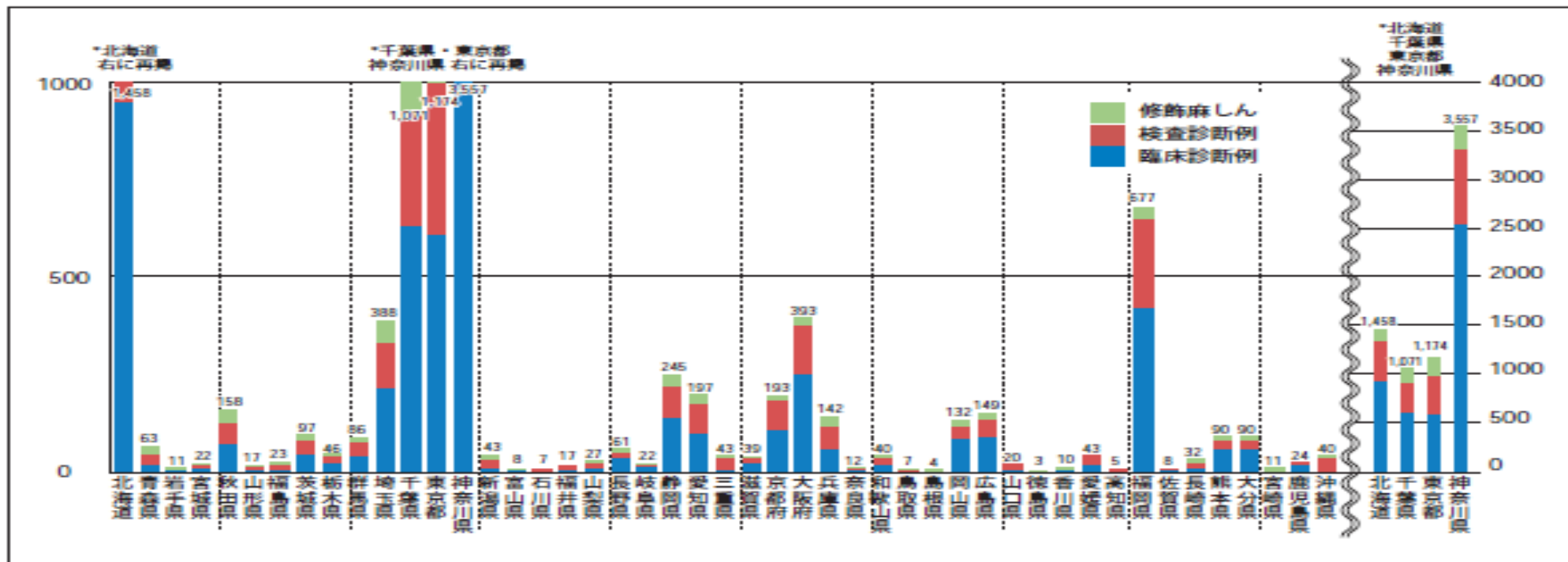
2008年 (n=11,005)

麻疹報告例はほとんどが臨床診断例でした

3. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 (n=11,005) 2008年第1週-52

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis from week 1 to week 52, 2008 (as of January 6, 2009).

■ Clinically diagnosed
■ Laboratory diagnosed
■ Modified measles, laboratory diagnosed



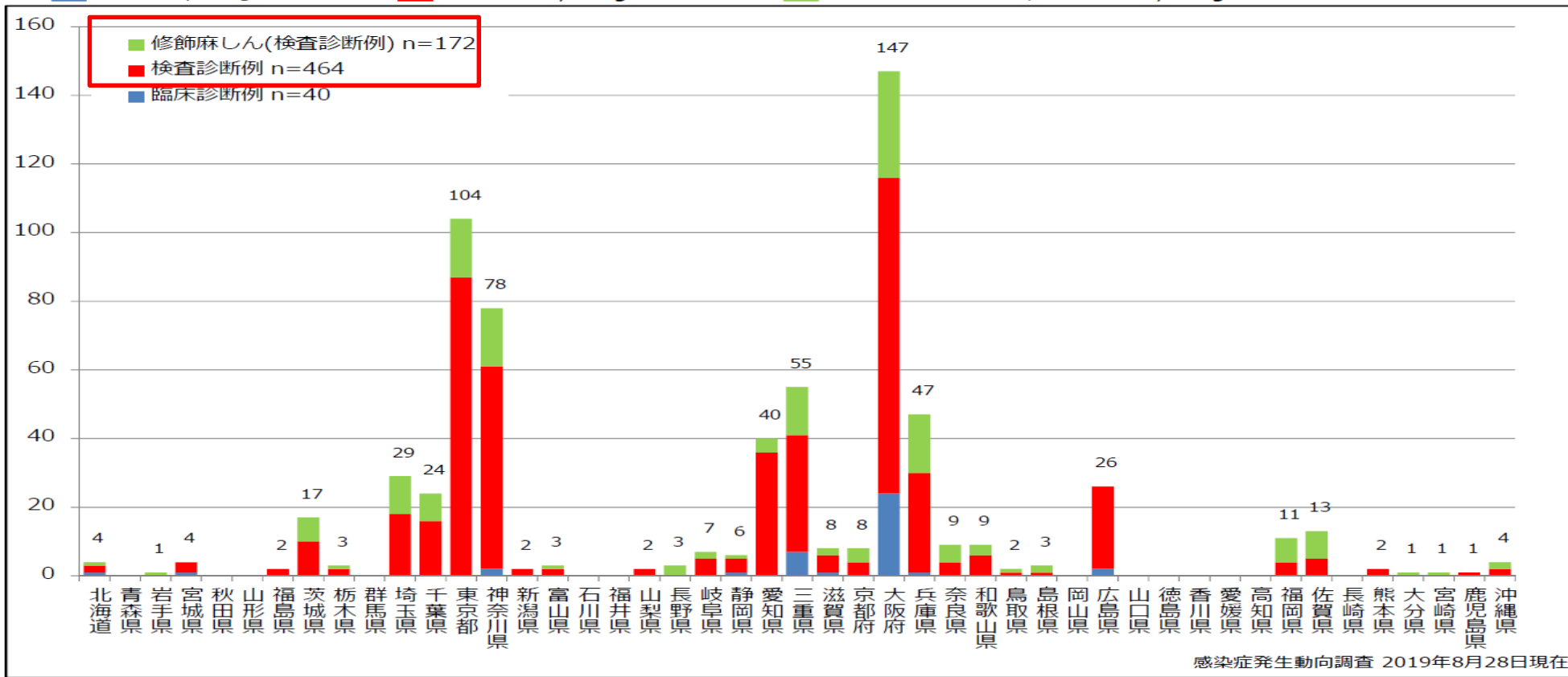
2019年第1~34週 (n=676)

麻疹報告例の94%が検査診断例です

4. 都道府県別病型別麻しん累積報告数 2019年 第1~34週 (n=676)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-34, 2019 (as of August 28, 2019)

■ Clinically diagnosed
 ■ Laboratory diagnosed
 ■ Modified measles, Laboratory diagnosed



感染症発生動向調査 2019年8月28日現在

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いいたします。

別記様式 5 - 2 1

麻 し ん 発 生 届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

1人発生したところで保健所による積極的疫学調査と感染拡大予防策がとられるようになった

1 診断（検査）した者（死体）の類型 ・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別 男・女	4 生年月日 年 月 日	5 診断時の年齢(0歳は月齢) 歳 (月)	6 当該者職業	
7 当該者住所			電話 () -		
8 当該者所在地			電話 () -		
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入) 電話 () -				

<p>病 型</p> <p>1) 麻しん（検査診断例） 2) 麻しん（臨床診断例）</p> <p>3) 修飾麻しん（検査診断例）</p> <p>11 症 状 ・発熱（月 日出現） ・咳 ・鼻汁 ・結膜充血 ・眼脂 ・コプリック斑 ・発疹（月 日出現） ・肺炎 ・中耳炎 ・腸炎 ・クループ ・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします） ・その他（ ）</p> <p>12 陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。</p> <p>診 断 方 法 (ア) 分離・同定による病原体の検出 検体： 咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） 遺伝子型：（ ） (イ) 検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体： 咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） 遺伝子型：（ ）</p> <p>(オ) その他の検査方法（ ） 検体（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ ） (カ) 臨床決定（ ）</p>		<p>13 感染原因・感染経路・感染地域</p> <p>①感染原因・感染経路（ 確定・推定 ）</p> <p>1 飛沫・飛沫核感染（感染源となった麻疹患者・状況： ） （ ） 2 接触感染（感染源となった麻疹患者・物の種類・状況： ） （ ） 3 その他（ ）</p> <p>②感染地域（ 確定 ・ 推定 ）</p> <p>1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域 渡航期間）</p> <p>③麻しん含有ワクチン接種歴</p> <p>1 回目 有（ 歳）・無・不明 ワクチンの種類（麻しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（ S・H 年 月 日・不明） 製造会社/Lot番号（ / ・不明）</p> <p>2 回目 有（ 歳）・無・不明 ワクチンの種類（麻しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（ S・H 年 月 日・不明） 製造会社/Lot番号（ / ・不明）</p> <p>14 初診年月日 平成 年 月 日</p> <p>15 診断（検査(※)）年月日 平成 年 月 日</p> <p>16 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日</p> <p>17 発病年月日（*） 平成 年 月 日</p> <p>18 死亡年月日（※） 平成 年 月 日</p> <p>19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項</p>
--	--	---

地方衛生研究所で全例のPCR検査が実施されるようになった

この届出は診断後直ちに行ってください

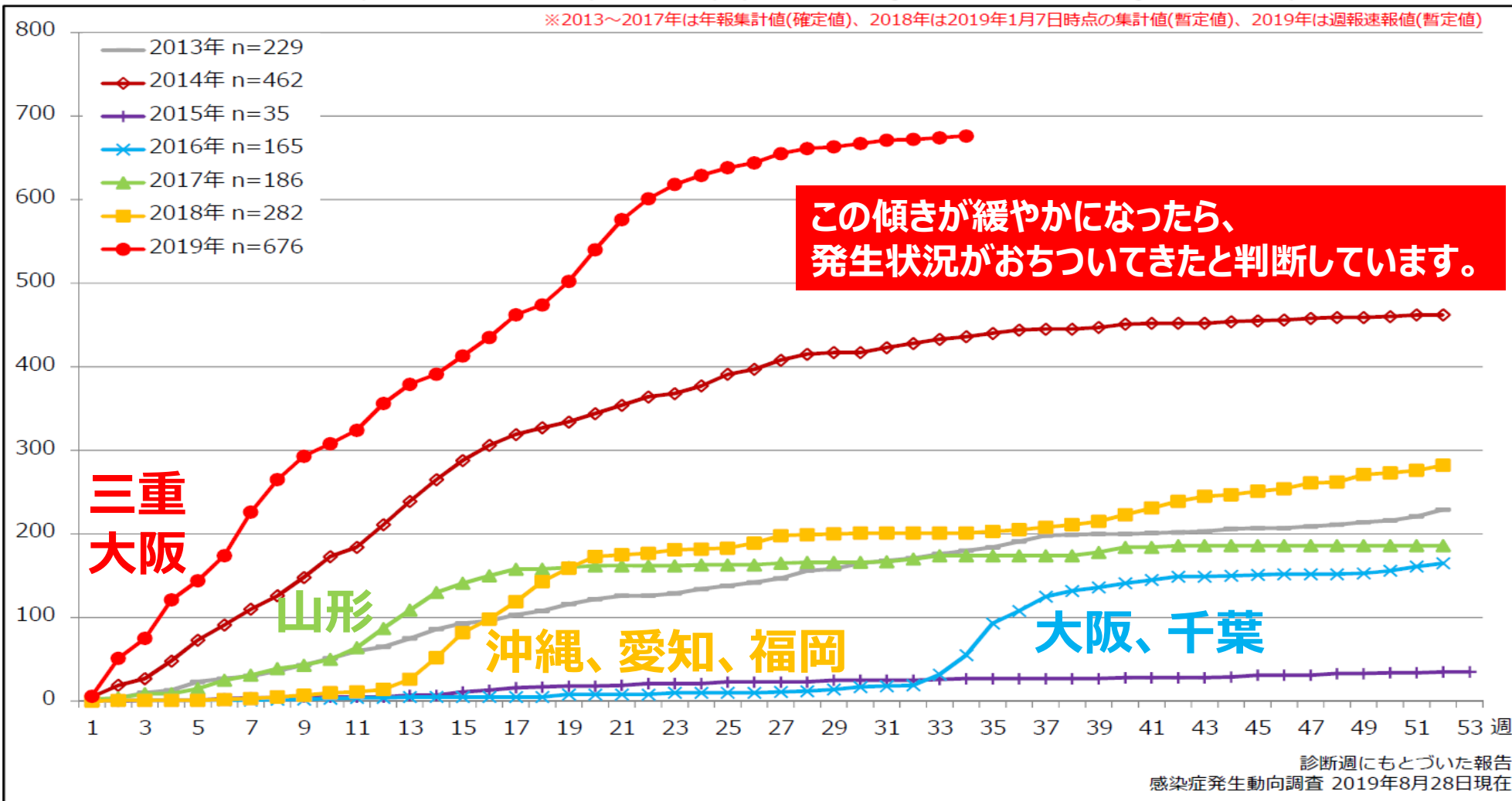
(1、3、11から13欄は該当する番号等を○で囲み、4、5、14から18欄は年齢、年月日を記入すること。
(※) 欄は、死亡者を検査した場合のみ記入すること。
(*) 欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。11、12欄は、該当するものすべてを記載すること。)

麻疹患者累積報告数2013年～2019年第34週（感染症発生動向調査より）

1. 麻しん累積報告数の推移 2013～2019年（第1～34週）

Cumulative measles cases by week, 2013-2019 (week 1-34) (based on diagnosed week as of August 28, 2019)

※2013～2017年は年報集計値(確定値)、2018年は2019年1月7日時点の集計値(暫定値)、2019年は週報速報値(暫定値)



週別累積麻疹報告数（人）

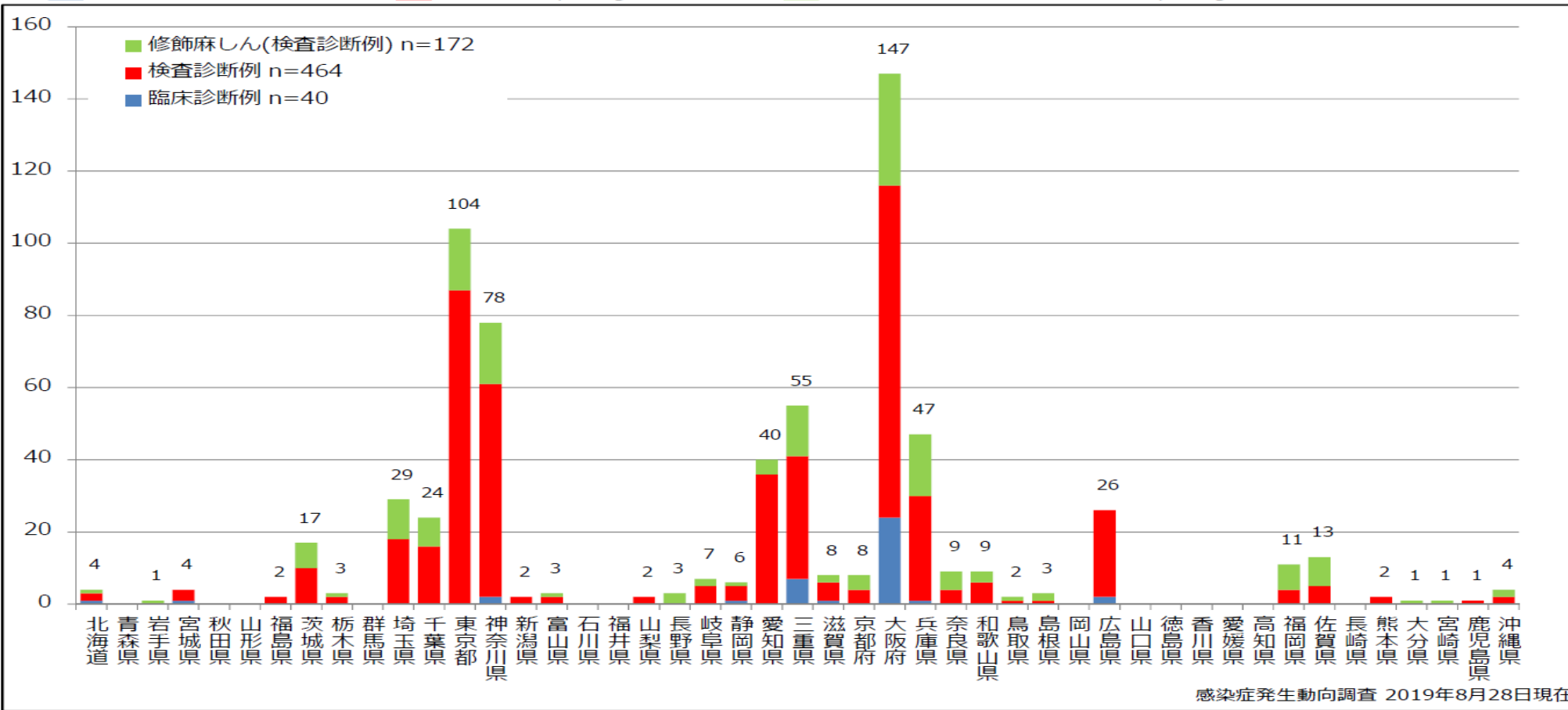
都道府県別予防接種歴別麻疹患者報告数、 2019年第1~34週 (n = 676) (感染症発生動向調査より)

4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2019年 第1~34週 (n=676)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-34, 2019 (as of August 28, 2019)

■ Clinically diagnosed
 ■ Laboratory diagnosed
 ■ Modified measles, Laboratory diagnosed

都道府県別麻疹報告数 (人)



感染症発生動向調査 2019年8月28日現在

年齢別予防接種歴別麻疹患者報告数、

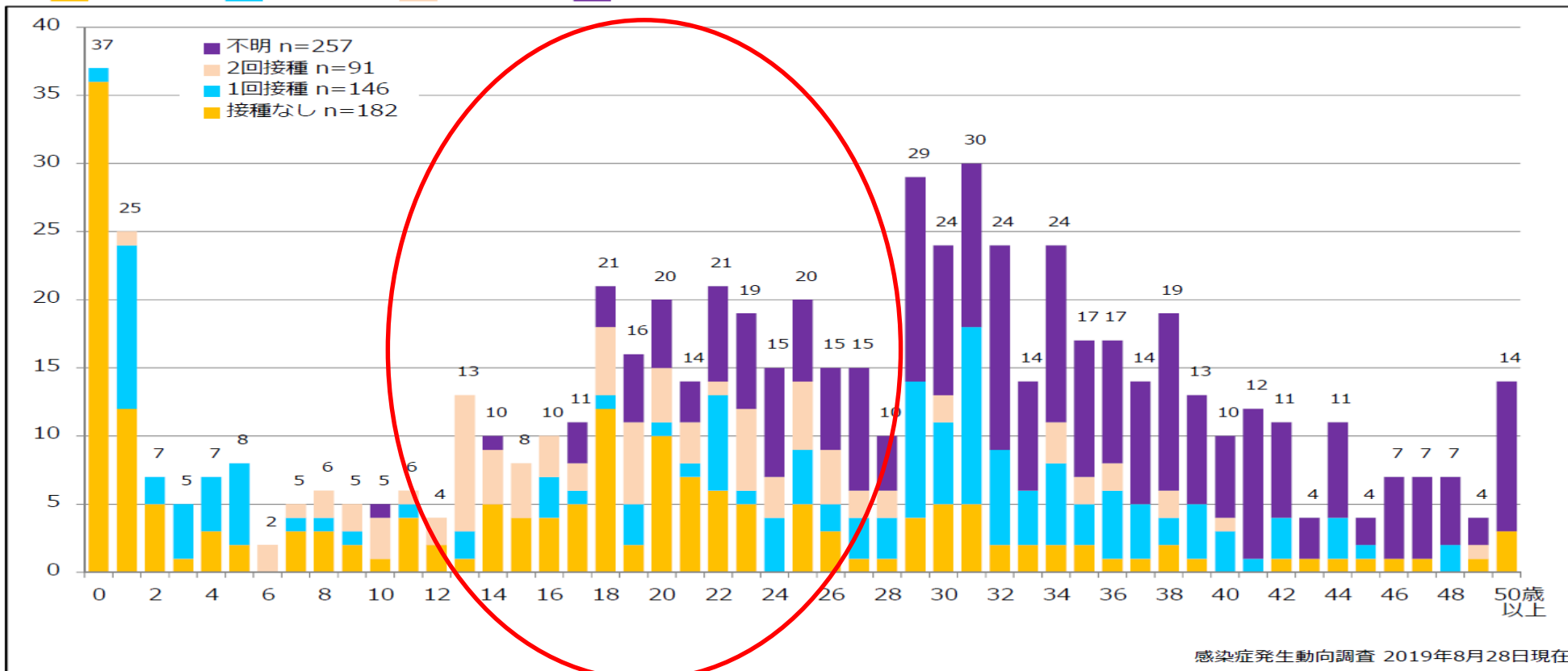
2019年第1~34週 (n = **676**) (感染症発生動向調査より)

6. 年齢群別接種歴別麻疹しん累積報告数 2019年 第1~34週 (n=676)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-34, 2019 (as of August 28, 2019)

None MCV1 MCV2 Unknown

年齢別麻疹報告数 (人)



年齢

抗体陰性
低抗体価

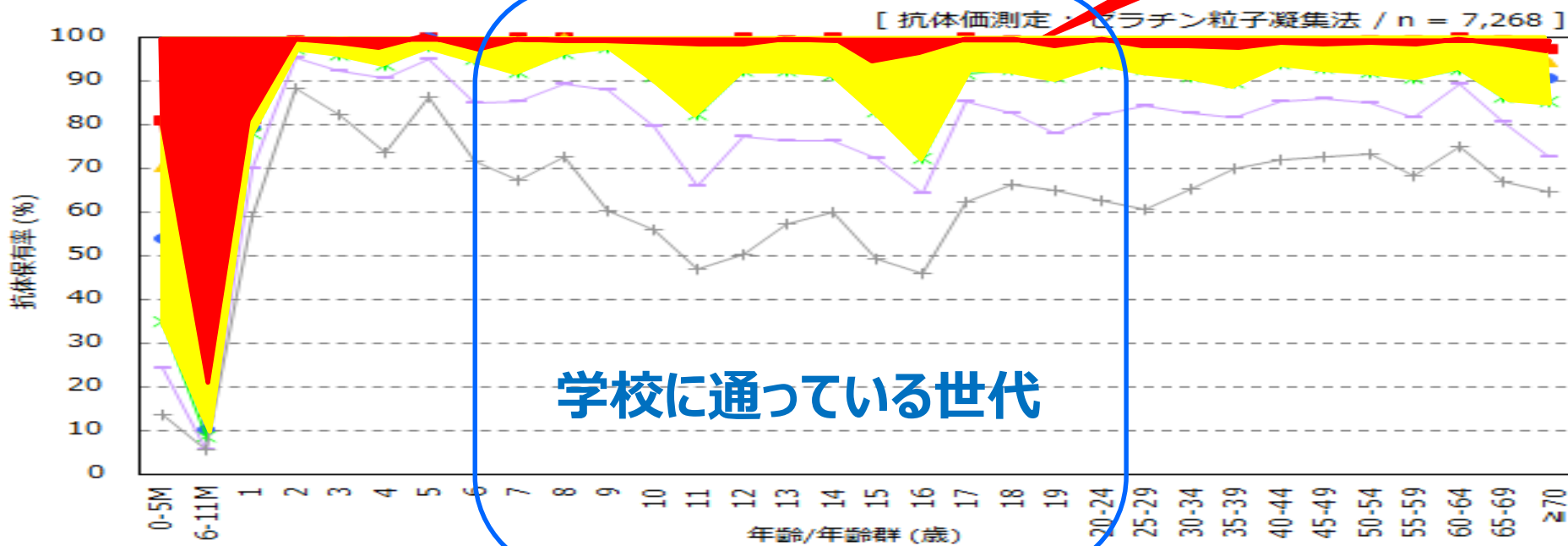
麻疹PA抗体保有状況

年齢/年齢群別の麻疹抗体保有状況, 2018年

～ 2018年度感染症流行予測調査より ～

※1 主に2018年7～9月に採取された血清の測定結果：2019年5月現在暫定値

この集団がたまたま集まったところに麻疹発生



学校に通っている世代

抗体価 $\geq 1:16$ $\geq 1:32$ $\geq 1:64$ $\geq 1:128$ $\geq 1:256$ $\geq 1:512$

流行予測2018

【2018年度麻疹感受性調査実施都道府県】

北海道, 宮城県, 山形県, 福島県, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 石川県, 長野県, 静岡県, 愛知県, 三重県, 京都府, 大阪府, 山口県, 高知県, 福岡県, 佐賀県, 宮崎県, 沖縄県

年齢別予防接種歴別麻疹患者報告数、

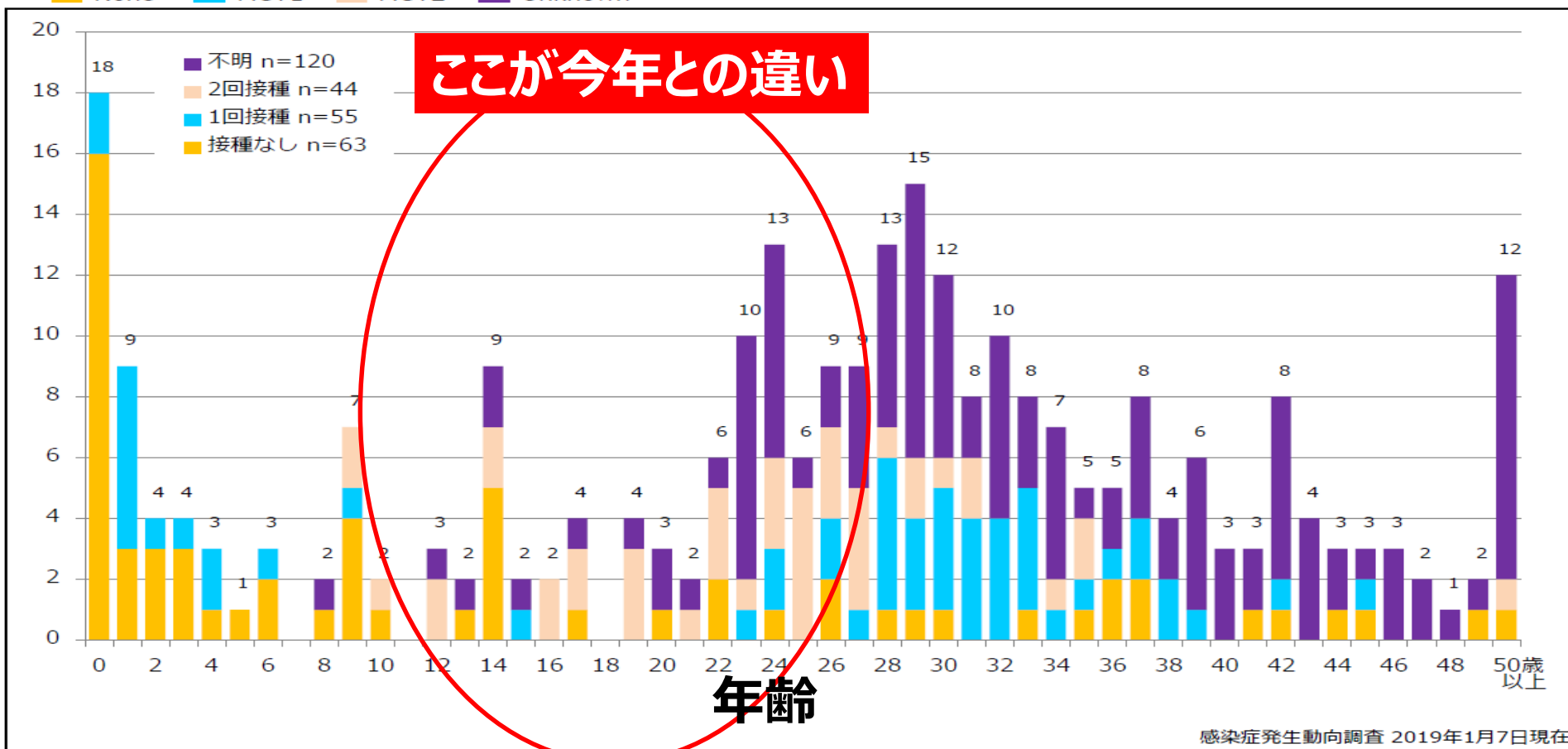
2018年第1~52週 (n = 282) (感染症発生動向調査より)

6. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 2018年 第1~52週 (n=282)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-52, 2018 (as of January 7, 2019)

None MCV1 MCV2 Unknown

麻疹患者報告数 (人)



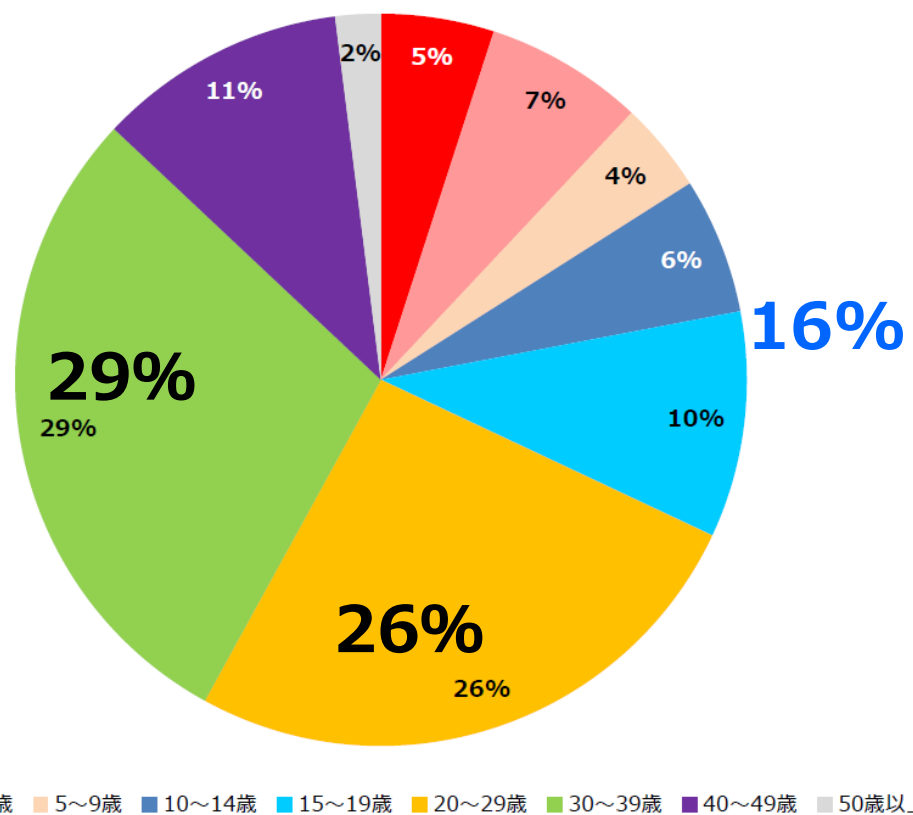
年齢群別麻疹患者報告割合

2019年第1～33週 (n = 674) (感染症発生動向調査より)

2019年

7. 年齢群別麻疹累積報告数割合 2019年 第1～33週 (n=674)

Percentage of cumulative measles cases by age group, week 1-33, 2019 (as of August 21, 2019)

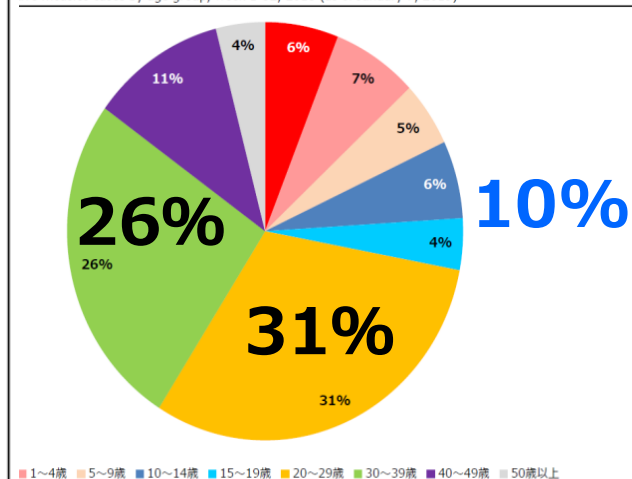


感染症発生動向調査 2019年8月21日現在

2018年

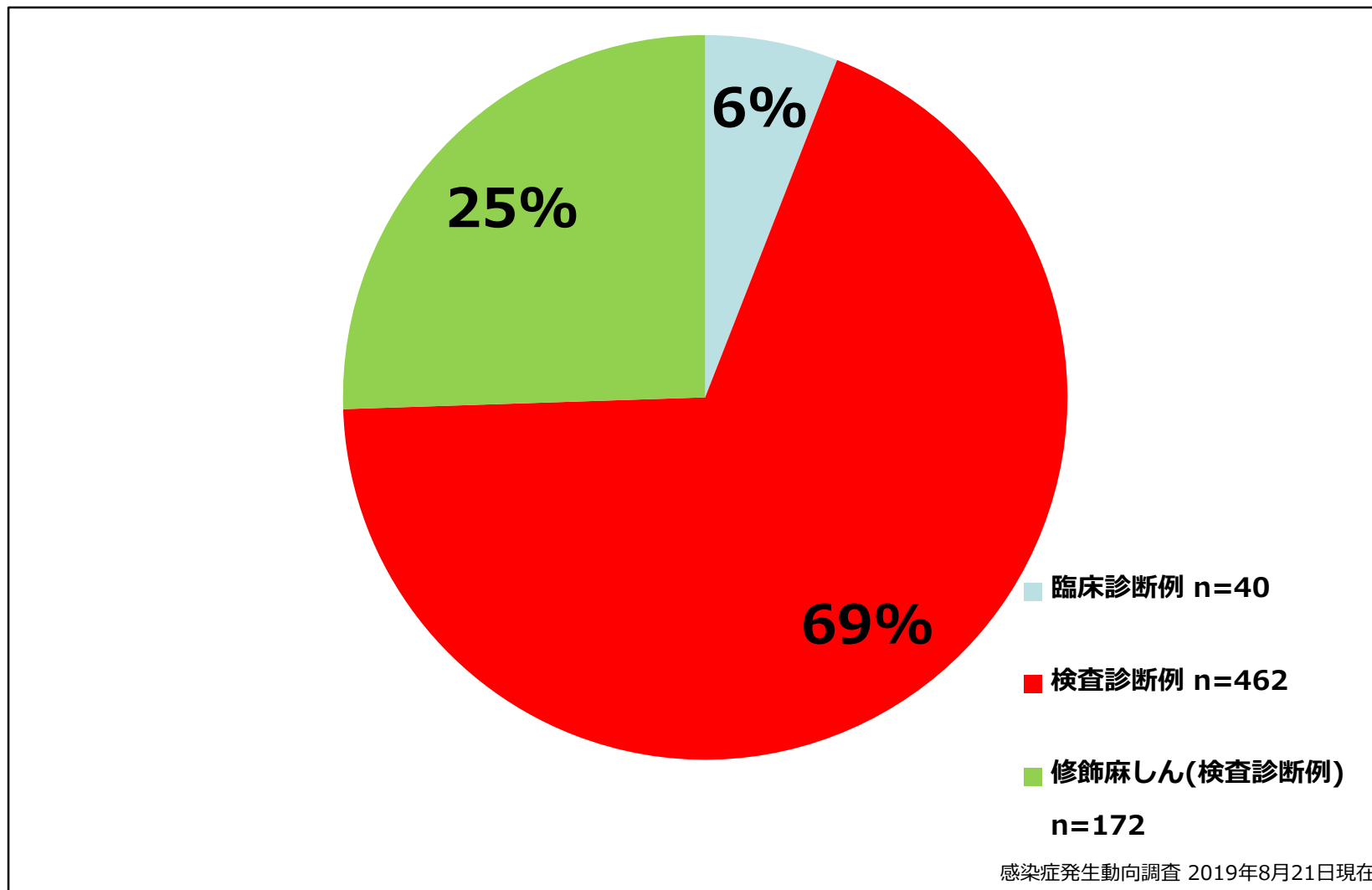
報告数割合 2018年 第1～52週 (n=282)

Percentage of cumulative measles cases by age group, week 1-52, 2018 (as of January 7, 2019)



感染症発生動向調査 2019年1月7日現在

病型別麻疹患者報告割合、 2019年第1~33週 (n = 674) (感染症発生動向調査より)



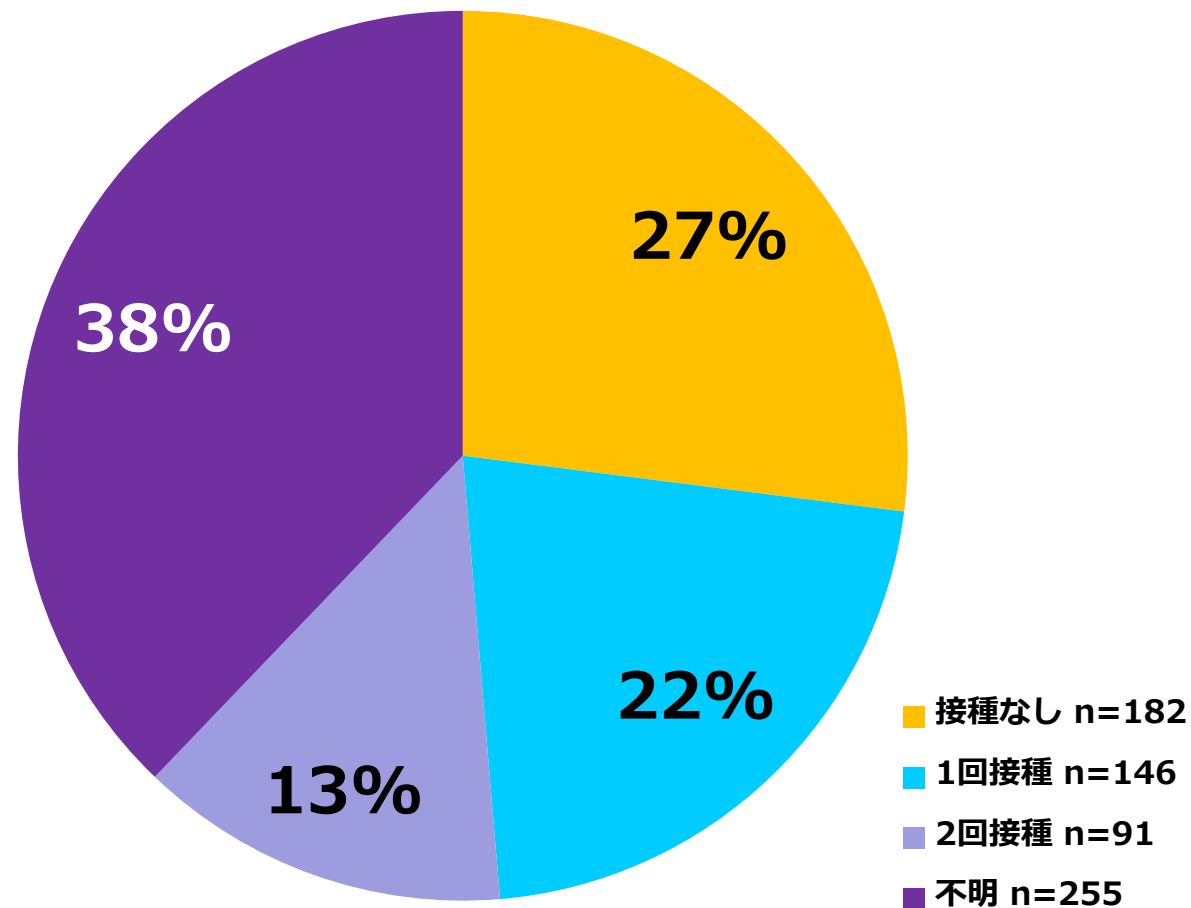
修飾麻疹

- 軽症で感染力は弱い（空気感染対策までは不要）
 - ただし、飛沫感染・接触感染対策は必要。
 - 曝露者の中に未接種未罹患がいた場合、曝露者は典型麻疹！
- 発熱のみ、発疹のみ、限局性の発疹の場合もある
- 潜伏期間が典型麻疹に比べると、やや長い
- 臨床症状のみでは診断が困難（検査診断が必要）
- 予防接種歴、約2～3週間前の行動・接触歴、周囲の患者発生状況の確認が必要

予防接種歴別麻疹患者報告割合

2019年第1～33週（n = 674）（感染症発生動向調査より）

予防接種歴は多くが未接種、接種歴不明です。接種歴有りの麻疹発症もありますが、多くが修飾麻疹で感染力は弱いため、感染拡大は抑制されます。



感染症発生動向調査 2019年8月21日現在

麻疹患者

患者とワクチン接種状況

接種歴無し

接種歴有り

接種歴無し

接種歴有り

接種率が50%の集団

麻疹患者は多く、
患者の多くは接種歴無し
典型的な麻疹が多い

接種率が95%の集団

麻疹患者は少なくなるが
患者の多くは接種歴有り
修飾麻疹が多い

ここが見えます。
バックは接種歴が多いです。

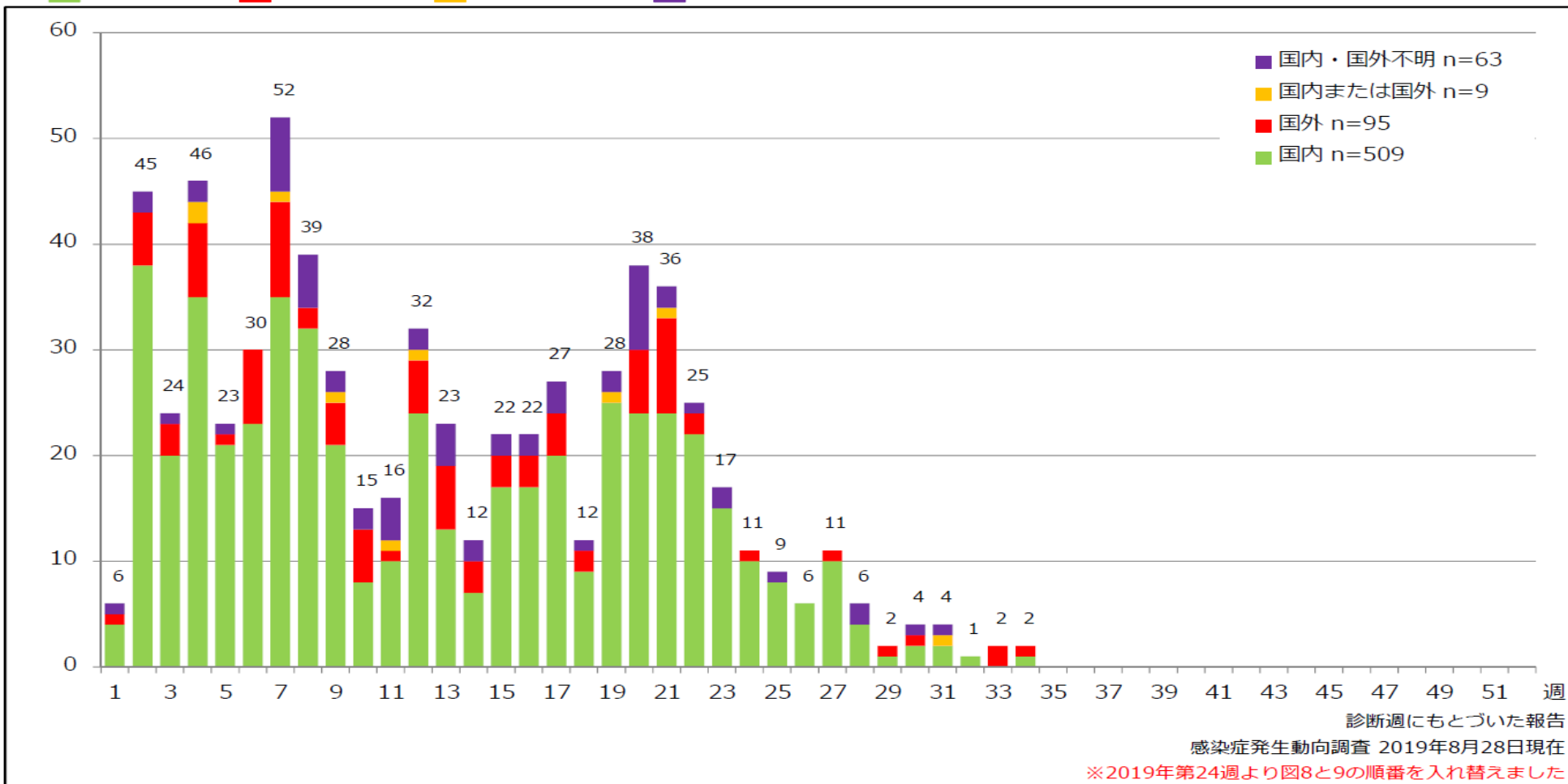
これを見てワクチン受けても麻疹に罹る、ワクチンの効果がないと言えるでしょうか？

9. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2019年 第1~34週 (n=676)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-34, 2019 (based on diagnosed week as of August 28, 2019)

Domestic Imported Unspecified Unknown

麻疹報告数
(人)



海外感染例が多く報告されています。
渡航前に麻疹の予防接種歴・罹患歴確認を！

推定感染地域「国外」 及び「国内または国外」の国別報告数

推定感染地域「国外」及び「国内または国外」の国別報告数

※複数の国または地域が報告された場合は「/」で区切って示しています

フィリピン : 34

フィリピン/国内 : 2

ベトナム : 22

ベトナム/国内 : 3

香港 : 3

香港/国内 : 1

台湾 : 1

カンボジア : 2

カンボジア/タイ/韓国 : 1

ブラジル : 1

タイ : 6

タイ/ラオス : 1

タイ/国内/カンボジア/ベトナム : 1

タイ/国内 : 1

ネパール : 1

インドネシア : 2

ミャンマー : 5

ニューカレドニア/国内 : 1

モルディブ : 2

モルディブ/スリランカ : 2

スリランカ : 1

マレーシア : 1

マレーシア/ベトナム/タイ : 1

韓国 : 1

ウクライナ : 3

ドイツ : 1

ドイツ/オランダ/フランス : 1

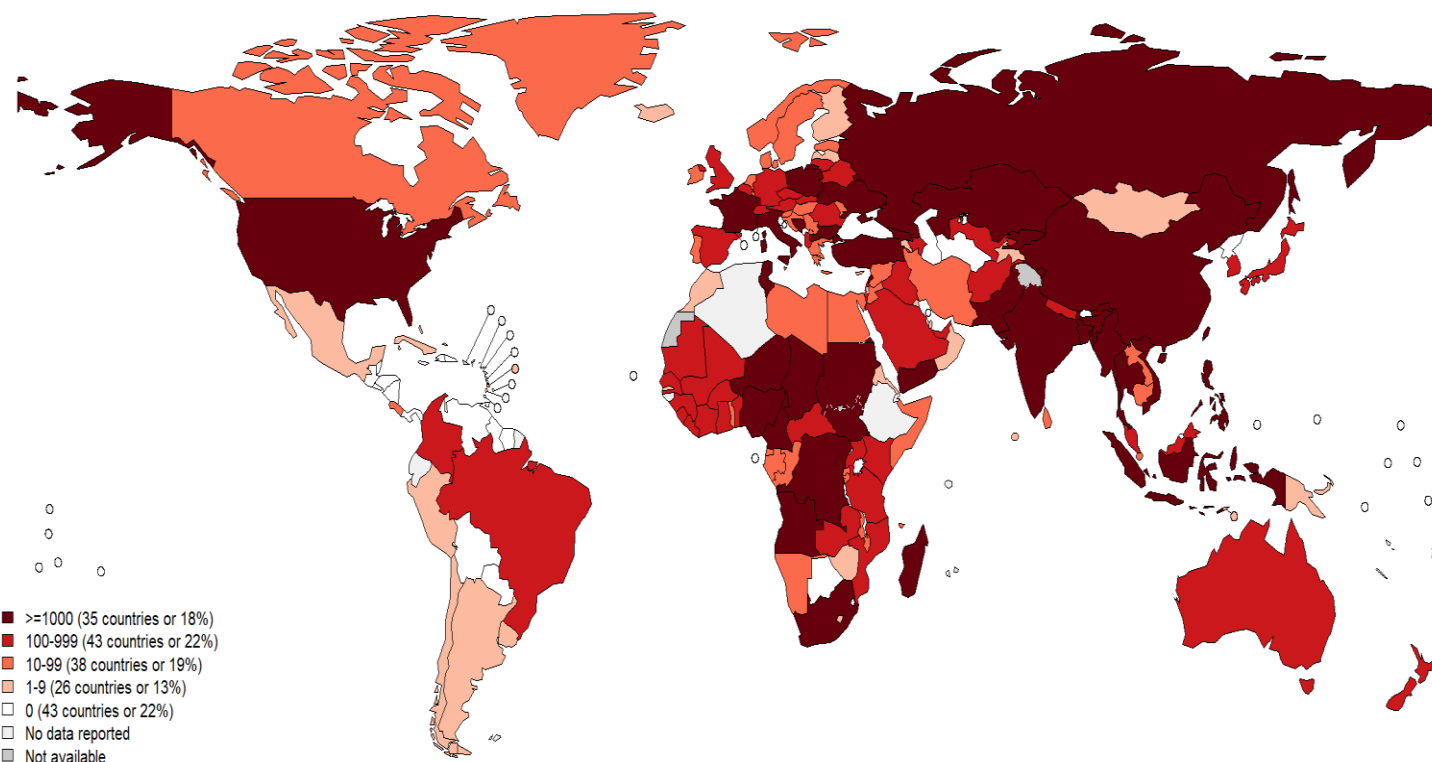
ニュージーランド : 1

カナダ : 1

ロシア : 1

Number of Reported Measles Cases (6M period) : 8月

Top 10*	
Country	Cases
マダガスカル	127454
ウクライナ	54246
フィリピン	36253
ナイジェリア	24744
インド	24076
カザフスタン	8855
コンゴ民主共和国	6451
イエメン	5848
ミャンマー	5029
ジョージア	3874



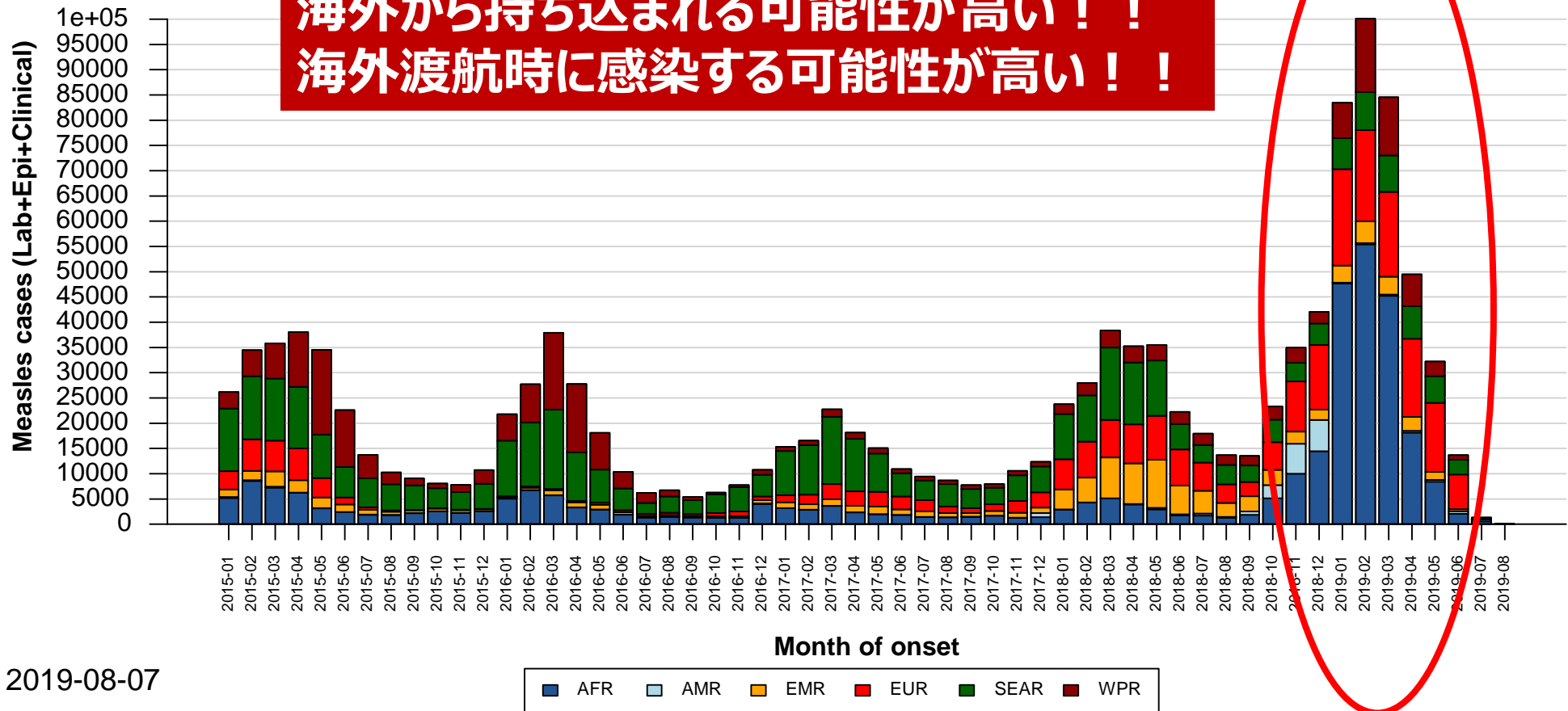
Map production: World Health Organization, WHO, 2019. All rights reserved
Data source: IVB Database

Disclaimer:

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

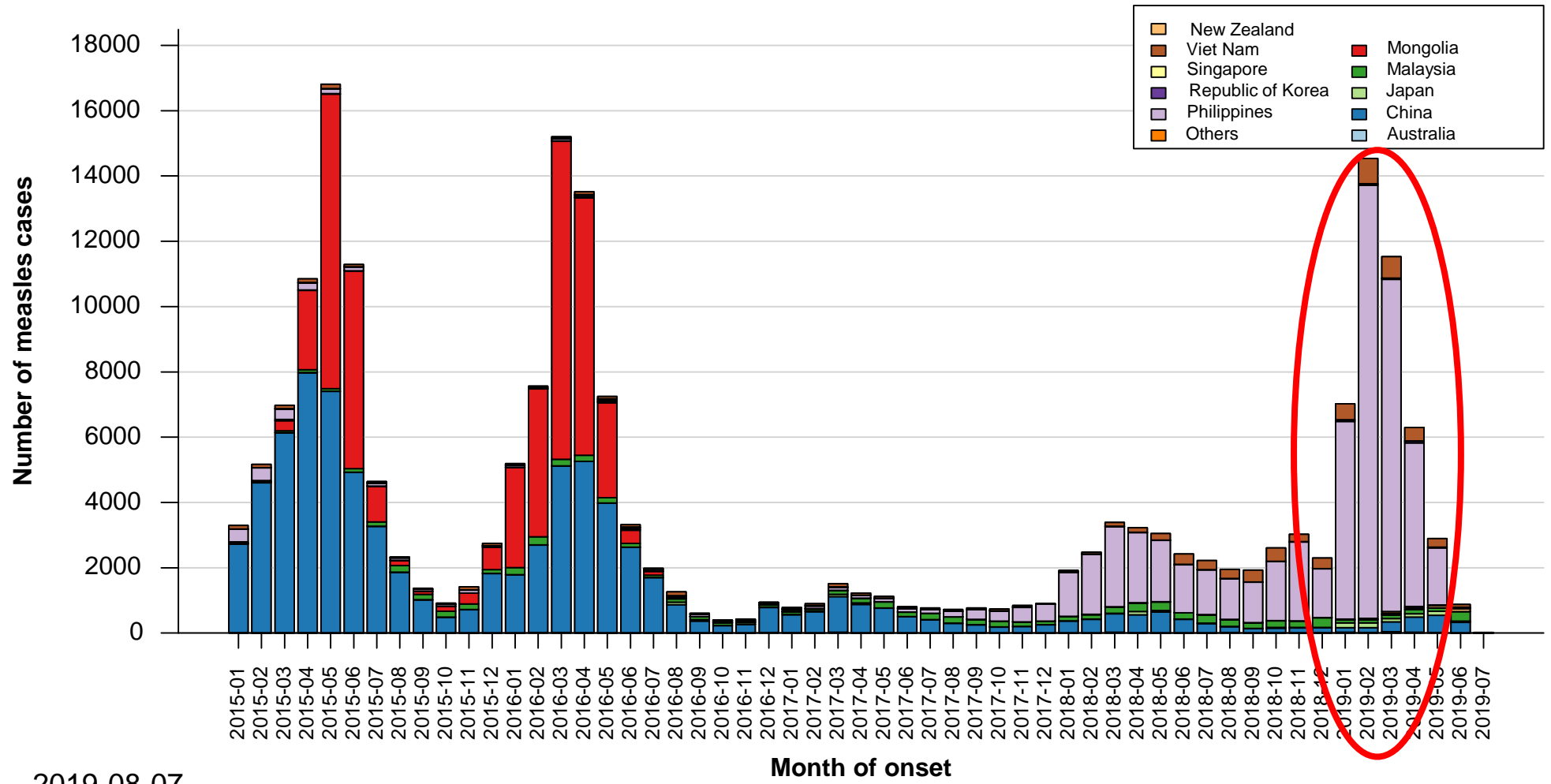
- Notes: Based on data received 2019-08 - Surveillance data from 2019-01 to 2019-06 - * Countries with highest number of cases for the period. **WHO classifies all suspected measles cases reported from India as measles clinically compatible if a specimen was not collected as per the algorithm for classification of suspected measles in the WHO VPD Surveillance Standards. Thus numbers might be different between what WHO reports and what India reports.

Measles case distribution by month and WHO Region (2015-2019)



Notes: Based on data received 2019-08 - Data Source: IVB Database - This is surveillance data, hence for the last month(s), the data may be incomplete.

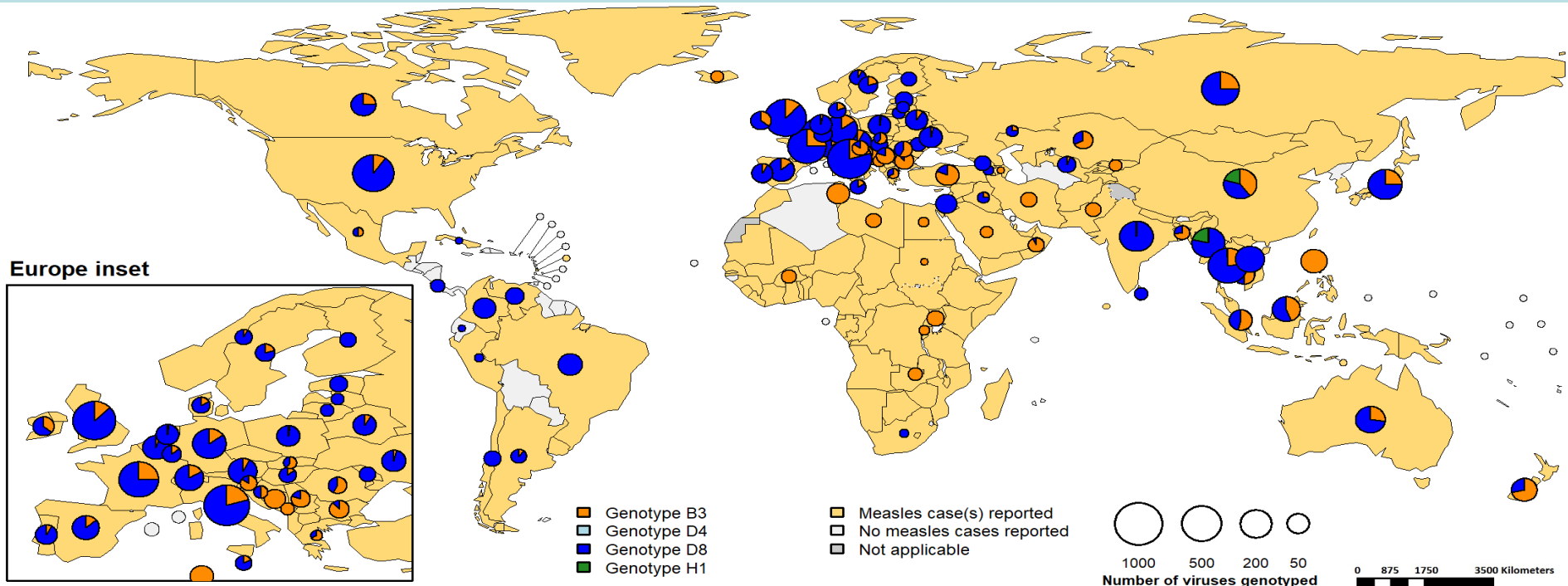
Measles case distribution by month and WPRO Region (2015-2019)



2019-08-07

Notes: Based on data received 2019-08 - Data Source: IVB Database

Distribution of measles genotypes (last 12 months): 8月



Map production: World Health Organization, WHO, 2019. All rights reserved
 Data source: IVB & MeaNS Databases

Disclaimer:
 The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

Notes: Data Source: MeaNS database (Genotypes) and IVB Database (Incidence) as of 2019-08-07 and covering the period 2018-07-01 to 2019-06-30 - Pie charts proportional to the number of sequenced viruses

麻疹ウイルスの血清型は1つ。24種類の遺伝子型に分類。

World Health Organization (WHO) ホームページより

渡航前・職場の麻疹対策

● 麻疹に対して、特にハイリスクと考えられる職場

– 医療機関

– 保育所

– 学校

– 不特定多数の人と接触する職場

– 海外から渡航する人々との接触が多い職場

– 事前に記録に基づくワクチン接種歴と罹患歴リストを作っておくといざというときに役立ちます！！ ⇒ **感受性者には対応を済ませておく！！**

2019年4月19日に改訂版が告示 麻しんに関する特定感染症予防指針

麻しんに関する特定感染症予防指針

平成19年12月28日
(平成28年2月3日一部改正・平成28年4月1日適用)
(平成31年4月19日一部改正・適用)

厚生労働省

- 医療機関、児童福祉施設等及び学校等の職員等
- 麻しんに未罹患又は罹患歴不明
- 麻しんの予防接種を必要回数である二回受けていない又は予防接種歴不明
- 予防接種を受けることを強く推奨

日本小児保健協会 予防接種・感染症委員会作成

- 「医療・福祉・保育・教育に関わる実習学生のための予防接種の考え方」
<https://www.jschild.or.jp/archives/456/>
- エクセルファイルでダウンロード可能
 - リスト201808_医療・保育・教育・福祉実習学生のための予防接種の考え方
 - 調査票201808_医療・保育・教育・福祉実習学生のための予防接種の考え方

医療・福祉・保育・教育に関わる
実習学生のための予防接種の考え方
(第1版)

日本小児保健協会 予防接種・感染症委員会
2018 年8月

風疹排除に向けて





風疹について

- **潜伏期間：2～3週間**
- **感染経路：飛沫感染・接触感染**
- **風疹ウイルスの排泄期間：
発疹出現**前**1週間と**後**1週間**



2019年第1～34週に報告された風しんの症状 (感染症発生動向調査：N=2,134)

国立感染症研究所感染症疫学センター風疹急増に関する緊急情報より

- 発しん 2,105 人 (99%)
- 発熱 1,895 人 (89%)
- リンパ節腫脹 1,228 人 (58%)
- **発熱、発疹、リンパ節腫脹の 3 主徴すべて 1,097 人 (51%)**
- 結膜充血995人 (47%)
- 咳523人 (25%)
- 関節痛・関節炎502人 (24%)
- 鼻汁458人 (21%)
- 咽頭痛37人、頭痛35人、倦怠感21人、下痢・水様便・軟便10人、硬口蓋/口蓋粘膜の点状出血8人、血小板減少5人、白血球減少3人、肝炎・肝機能障害3人、髄膜炎1人、肺炎1人等



届出された風しんの合併症

- 2012年
 - 急性脳炎：5人
 - 血小板減少性紫斑病：13人
- 2013年
 - 急性脳炎：11人
 - 血小板減少性紫斑病：64人
- 2018年
 - 急性脳炎：1人
 - 血小板減少性紫斑病：13人
- 2019年（第1～34週）
 - 急性脳炎：1人
 - 血小板減少性紫斑病：6人



妊娠初期の女性が
風しんにかかると、
生まれてくる赤ちゃんが

「先天性風しん症候群」になる確率

妊娠1ヵ月で
50%以上[※]

この数字は、免疫のない女性が妊娠初期に風しんウイルスに感染した結果、病気を持った赤ちゃんが生まれる確率です。耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に病気がある、発達がゆっくりしている。これら『先天性風しん症候群』は、妊娠『前』の予防接種で防ぐことができます。未来の赤ちゃんのために、まずは風しんの抗体検査を。

※母体が感染した妊娠月別の先天性風しん症候群の発生確率は、妊娠1ヵ月で50%以上、2ヵ月で35%、3ヵ月で18%、4ヵ月で8%程度である。出典元：国立感染症研究所

妊娠2か月：35%
妊娠3か月：18%
妊娠4か月：8%
(加藤茂孝先生：感染症の話より)



妊娠前の女性は

「風しん」の予防接種をご検討ください。

接種後2ヵ月は避妊が必要です。
2回の接種でより確実に先天性風しん症候群を予防できます。



成人男性は

●風しんにかかったことがない方
●風しんワクチンを受けていない方
●どちらも不明の方
接種をご検討ください。

2回接種しても問題ありません。



妊娠中の女性の家族は

「風しん」の予防接種をご検討ください。

妊婦は風しんの予防接種を受けられません。
1歳児(第1期)と、小学校入学前1年間(第2期)は
麻疹風しん混合ワクチンの定期接種を受けましょう。



ポイント 1 近年の風しんは成人に多く見られ、平成25年には20代から40代の年齢層で男性を中心に風しんが流行しました。

ポイント 2 特に昭和54年4月2日～平成2年3月31日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。

ポイント 3 風しんの予防接種は、はしか(麻疹)も一緒に予防できる麻疹風しん混合(MR)ワクチンで受けることをお奨めします。

予防接種の必要性は、抗体検査でわかります。

今、未来を想うカタチ。風しんの抗体検査。

現在、多くの自治体では先天性風しん症候群の予防のために、主として妊娠を希望する女性を対象に、風しんの抗体検査(免疫の状態を調べるための血液検査)を無料で実施しています(平成27年3月末まで)。風しんの抗体検査の実施状況については、お住まいの地域の保健所までご相談ください。抗体検査をして抗体価が低かった場合、予防接種をご検討ください。

【お問い合わせ先】厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口 TEL.03-5276-9337
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く)

風しん 厚労省 検索



風疹を日本からなくそう！

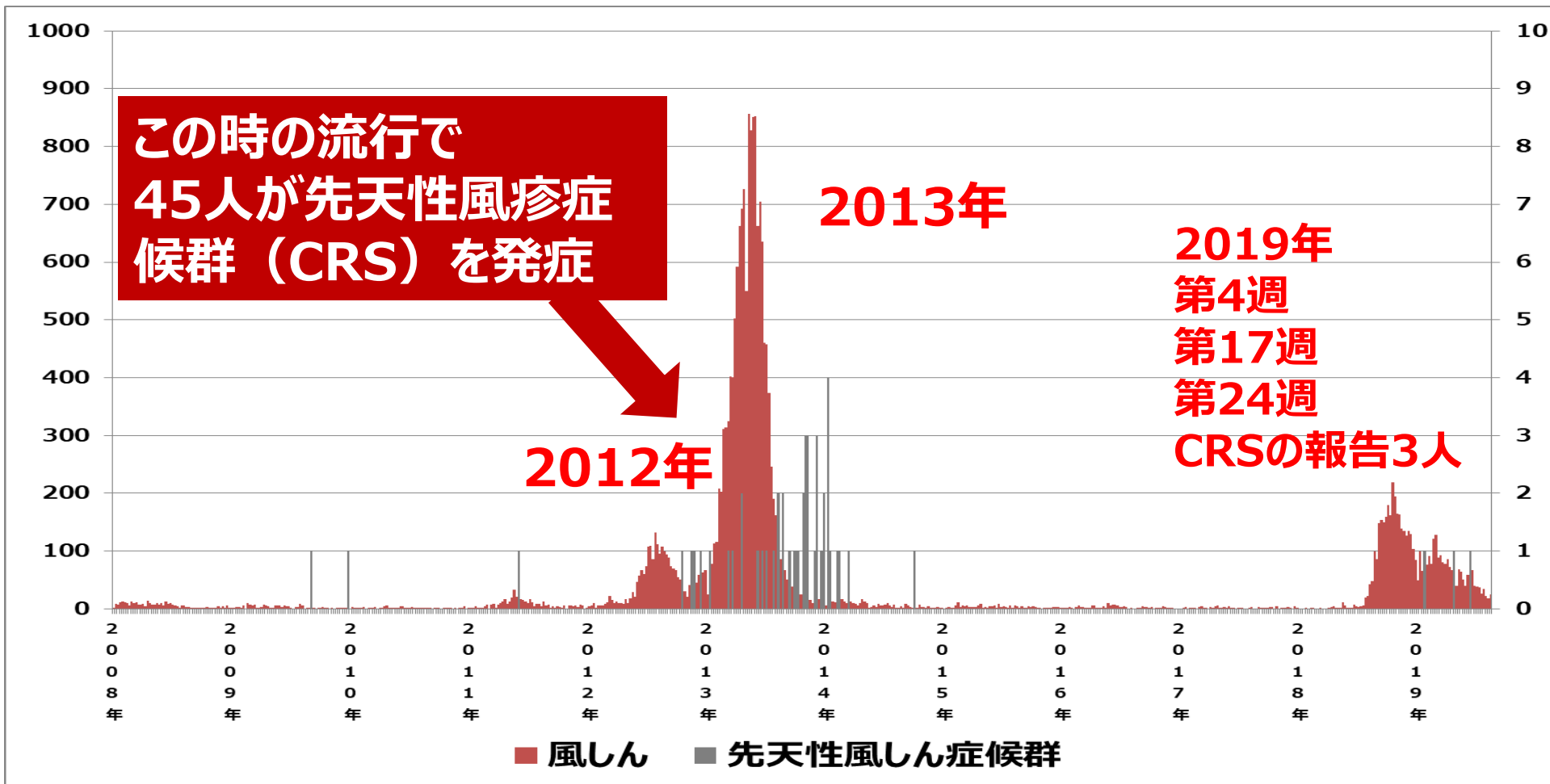
国の目標は
2020年度



週別風疹・先天性風疹症候群患者報告数 2008年第1週～2019年第34週

週別風疹報告数 (人)

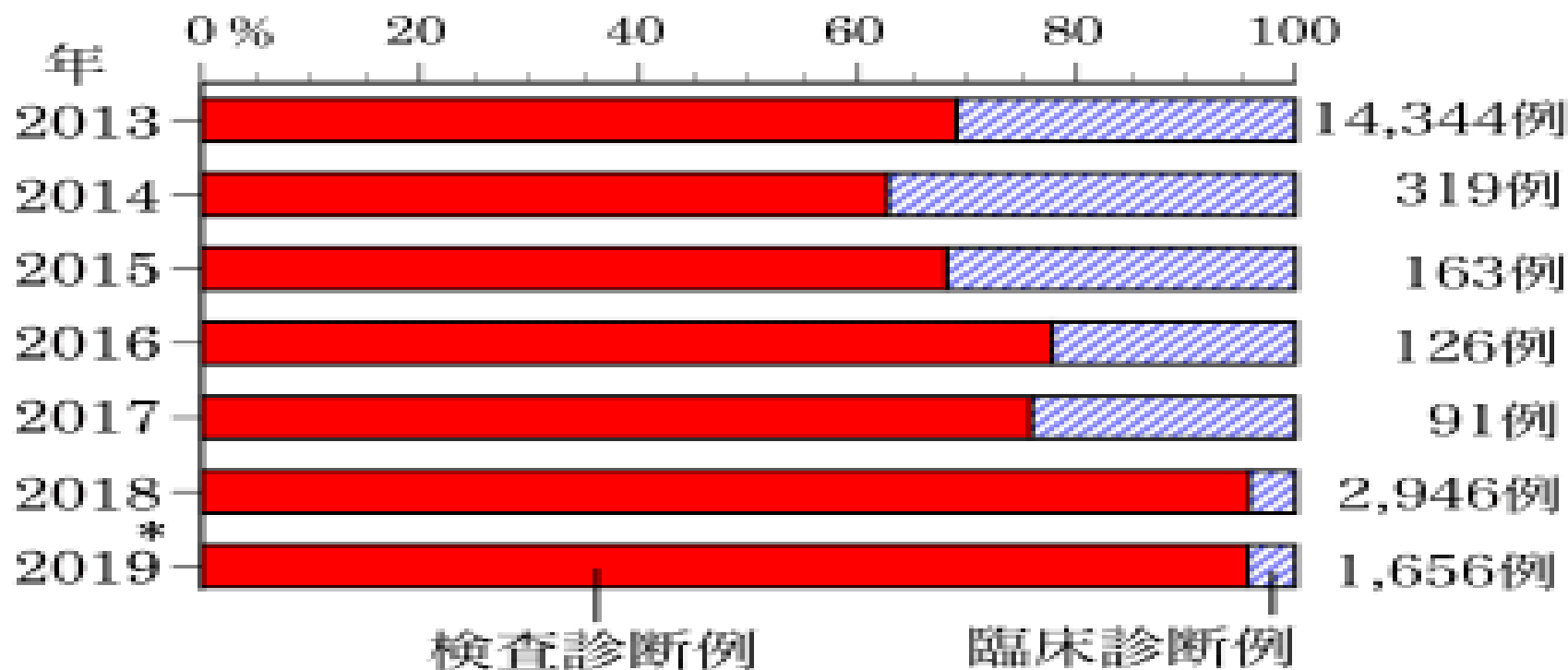
週別先天性風疹症候群報告数 (人)



(感染症発生動向調査より)



図4. 風疹の病型別届出数の割合, 2013~2019年*



* 2019年第22週まで

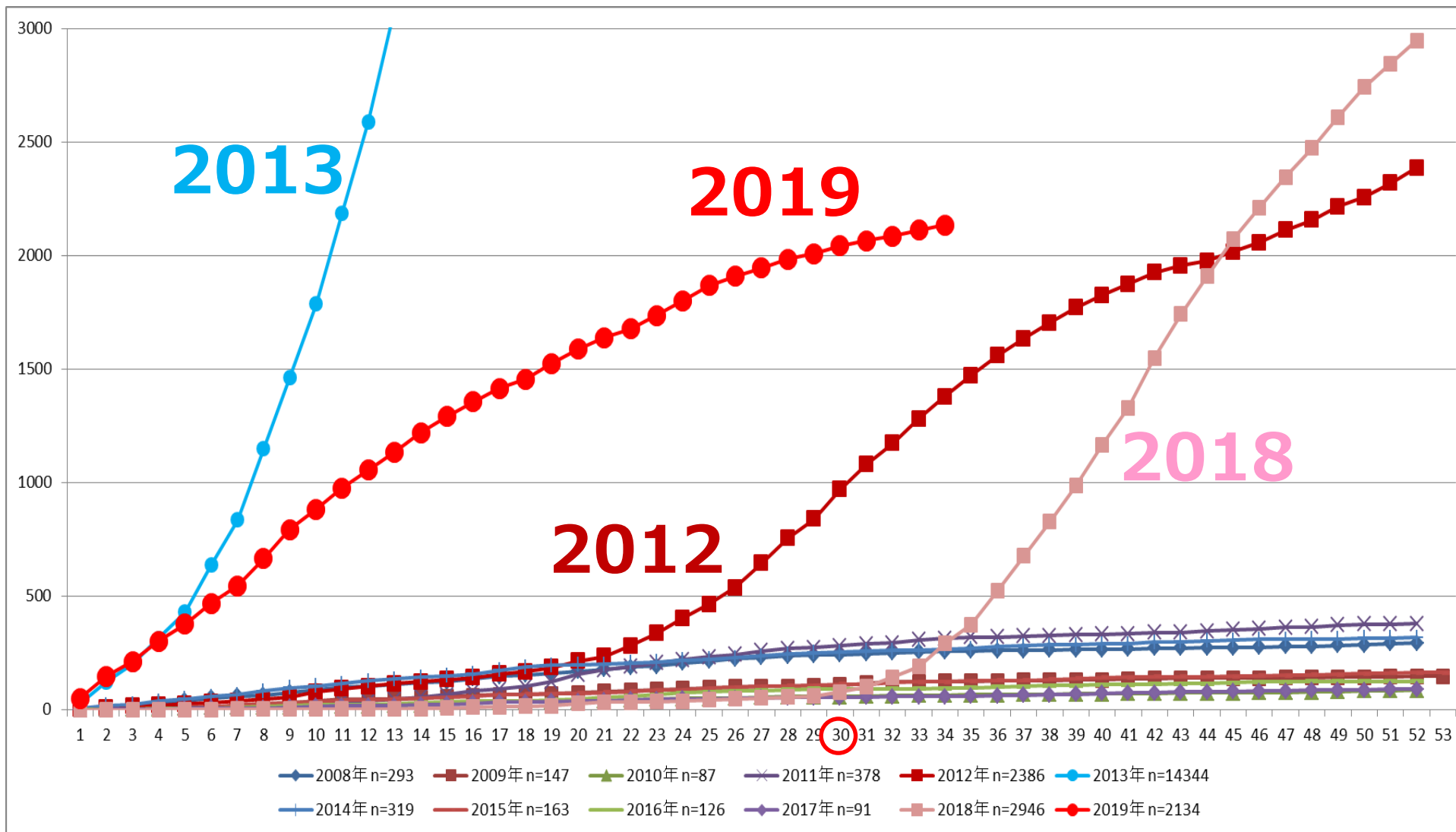
(感染症発生動向調査：2019年6月4日現在届出数)





増加を続けている2019年の風疹

週別風疹累積報告数 (人)



週

(感染症発生動向調査より)



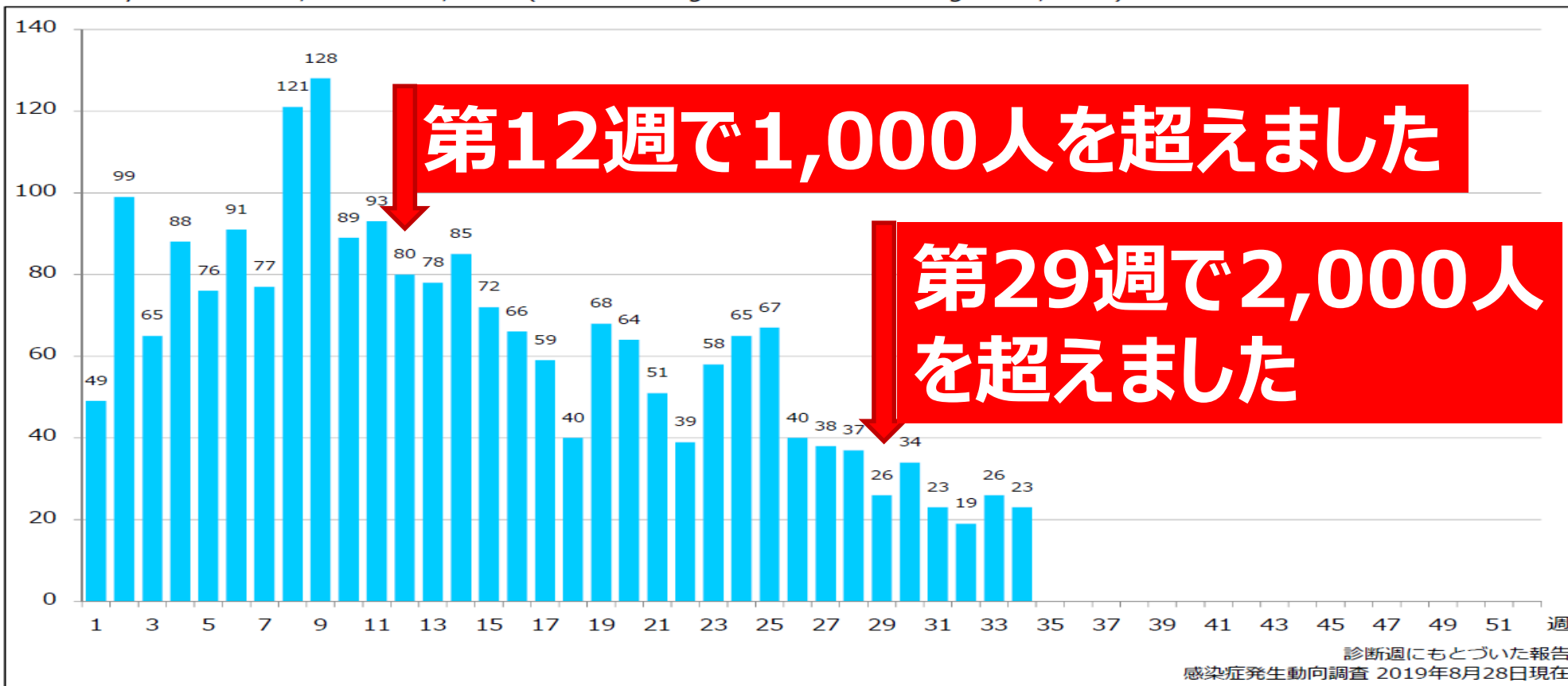
週別風疹報告数

2019年第1~34週 : n=2,134

2. 週別風しん報告数 2019年 第1~34週 (n=2134)

Weekly rubella cases, week 1-34, 2019 (based on diagnosed week as of August 28, 2019)

週別風疹報告数 (人)





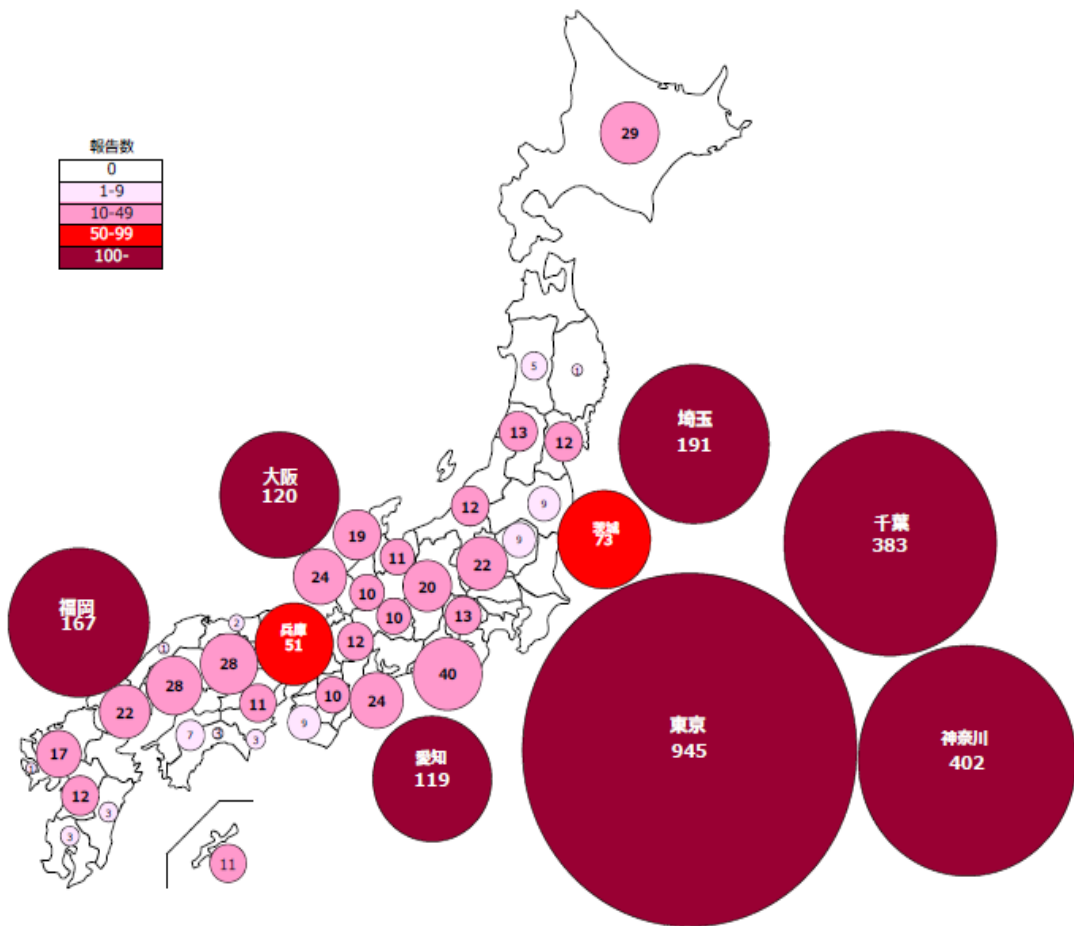
都道府県別風疹報告数

2018年1-52週 : 2,917人

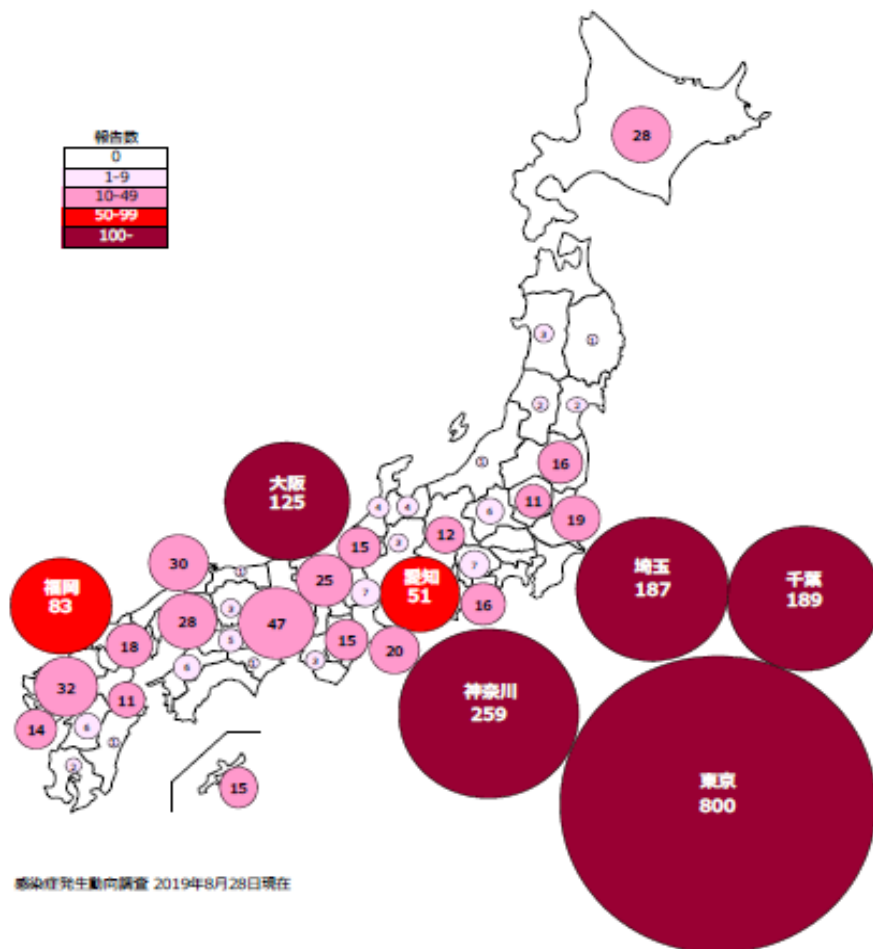
2019年1-34週 : 2,134人

都道府県別風しん累積報告数, 2018年 第1~52週 (n=2,917)

都道府県別風しん累積報告数, 2019年 第1~34週 (n=2,134)



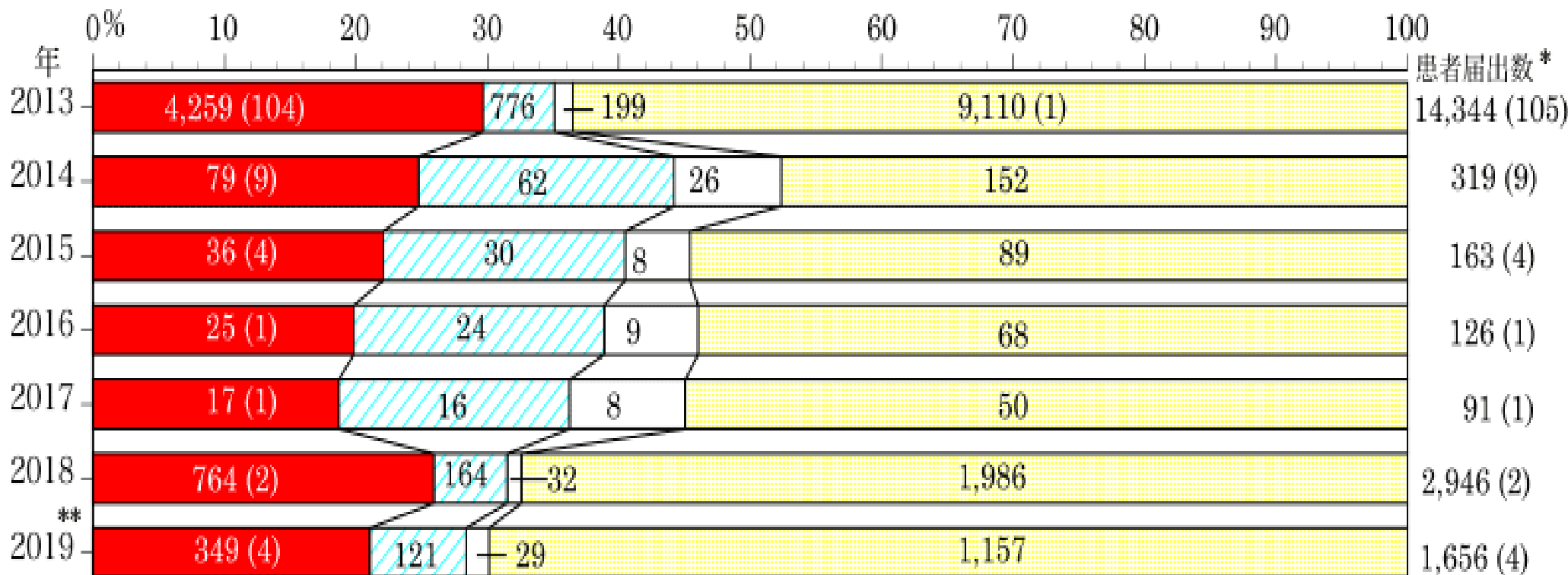
感染症発生動向調査 2019年1月7日現在



感染症発生動向調査 2019年8月28日現在



図3. 風疹患者の予防接種歴別割合, 2013~2019年 (感染症発生動向調査: 2019年6月4日現在届出数)^{**}



■ 接種歴なし □ 接種1回あり □ 接種2回あり □ 接種歴不明 *うち()は0歳 **2019年第22週まで





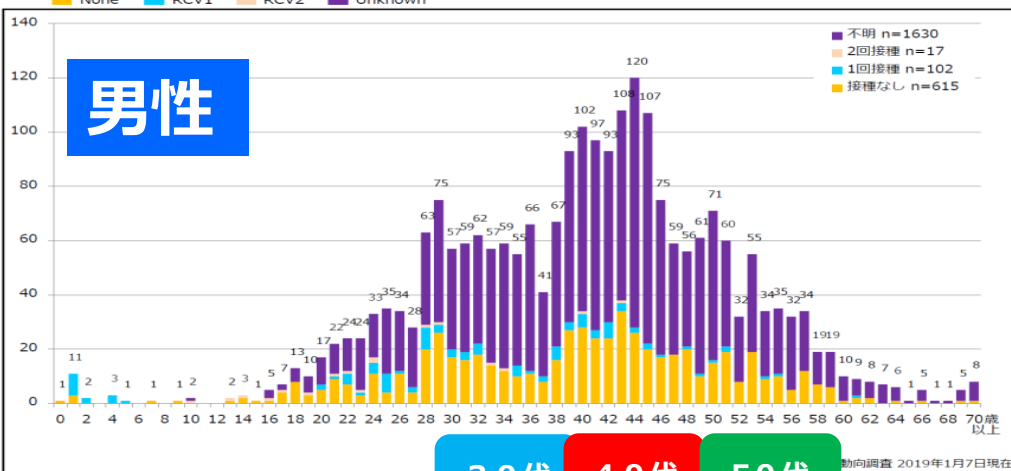
男女別予防接種歴別風しん患者報告数

2018年1-52週 : 2,917人

2019年1-34週 : 2,134人

5-1. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (男性) 2018年 第1~52週 (n=2364)

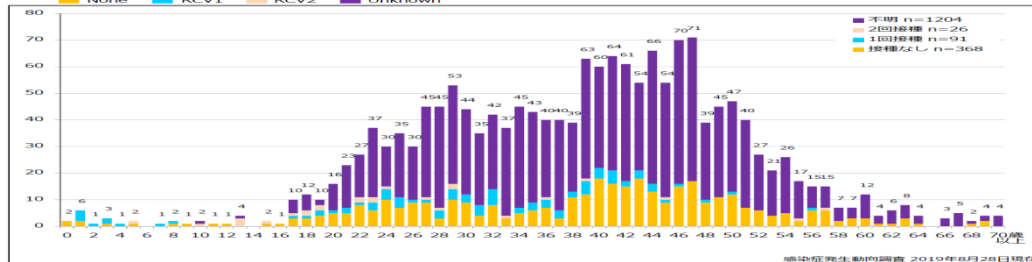
Cumulative rubella cases (male) by age and vaccinated status, week 1-52, 2018 (as of January 7, 2019)



男性

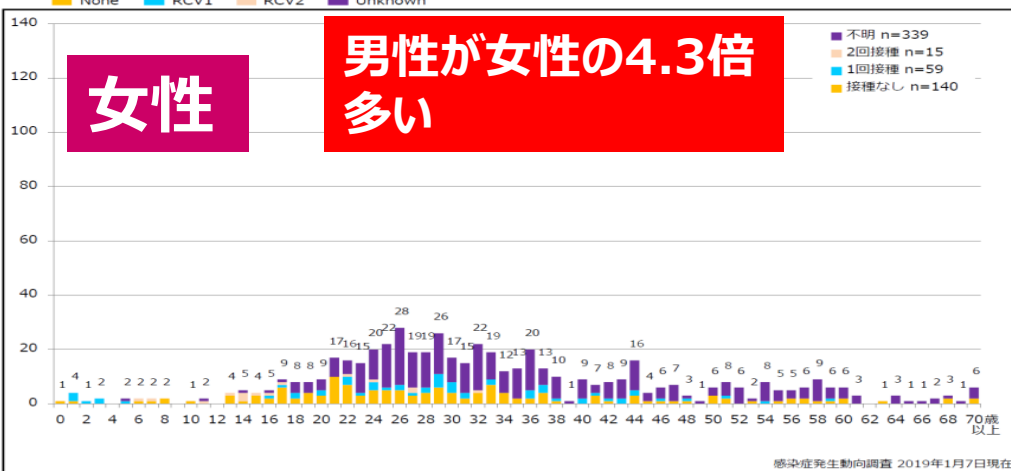
5-1. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (男性) 2019年 第1~34週 (n=1689)

Cumulative rubella cases (male) by age and vaccinated status, week 1-34, 2019 (as of August 28, 2019)



5-2. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (女性) 2018年 第1~52週 (n=553)

Cumulative rubella cases (female) by age and vaccinated status, week 1-52, 2018 (as of January 7, 2019)

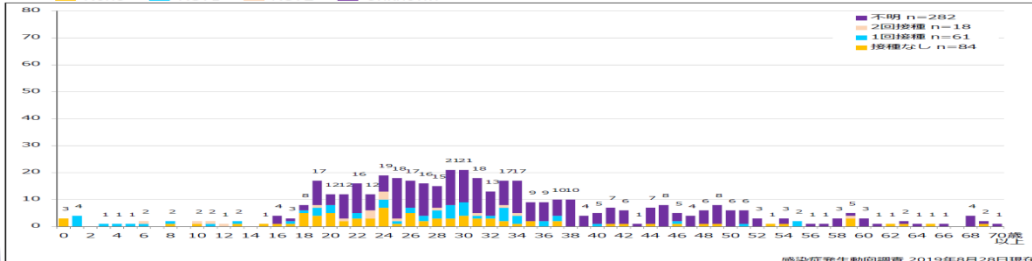


女性

男性が女性の3.8倍多い

5-2. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (女性) 2019年 第1~34週 (n=445)

Cumulative rubella cases (female) by age and vaccinated status, week 1-34, 2019 (as of August 28, 2019)



Rubella Incidence Rate per Million (12M period) : 8月

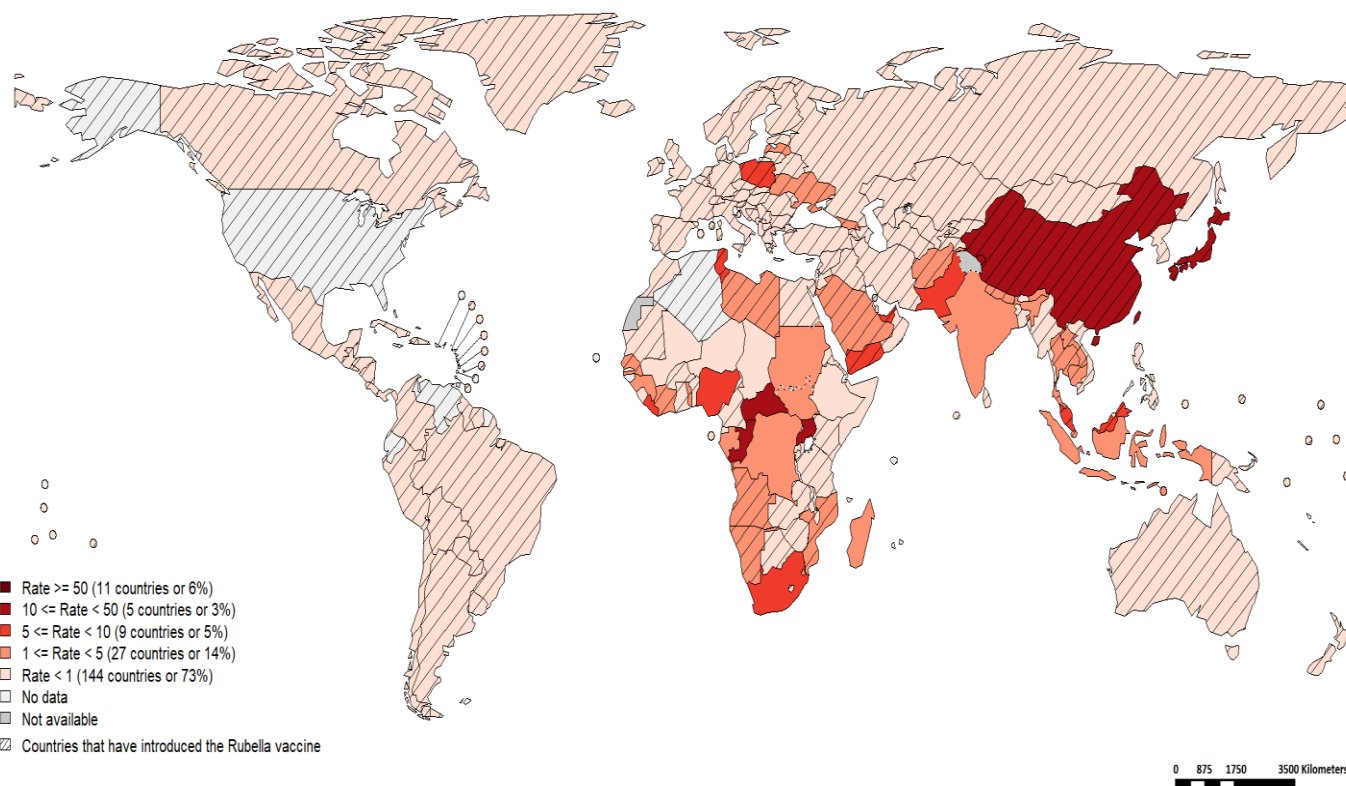


Top 10**

Country	Cases	Rate
中国	28429	20.260
インド	2159	1.630
日本	2029	15.880
ナイジェリア	1231	6.620
インドネシア	1087	4.160
パキスタン	1028	5.320
ウガンダ	466	11.230
南アフリカ共和国	390	6.960
ポーランド	372	9.730
コンゴ民主共和国	351	4.460

Other countries with high incidence rates***

Country	Cases	Rate
中央アフリカ共和国	163	35.480
コンゴ	100	19.510
リベリア	42	9.
イエメン	249	9.030
アラブ首長国連邦	83	8.950
イエメン	201	7.290



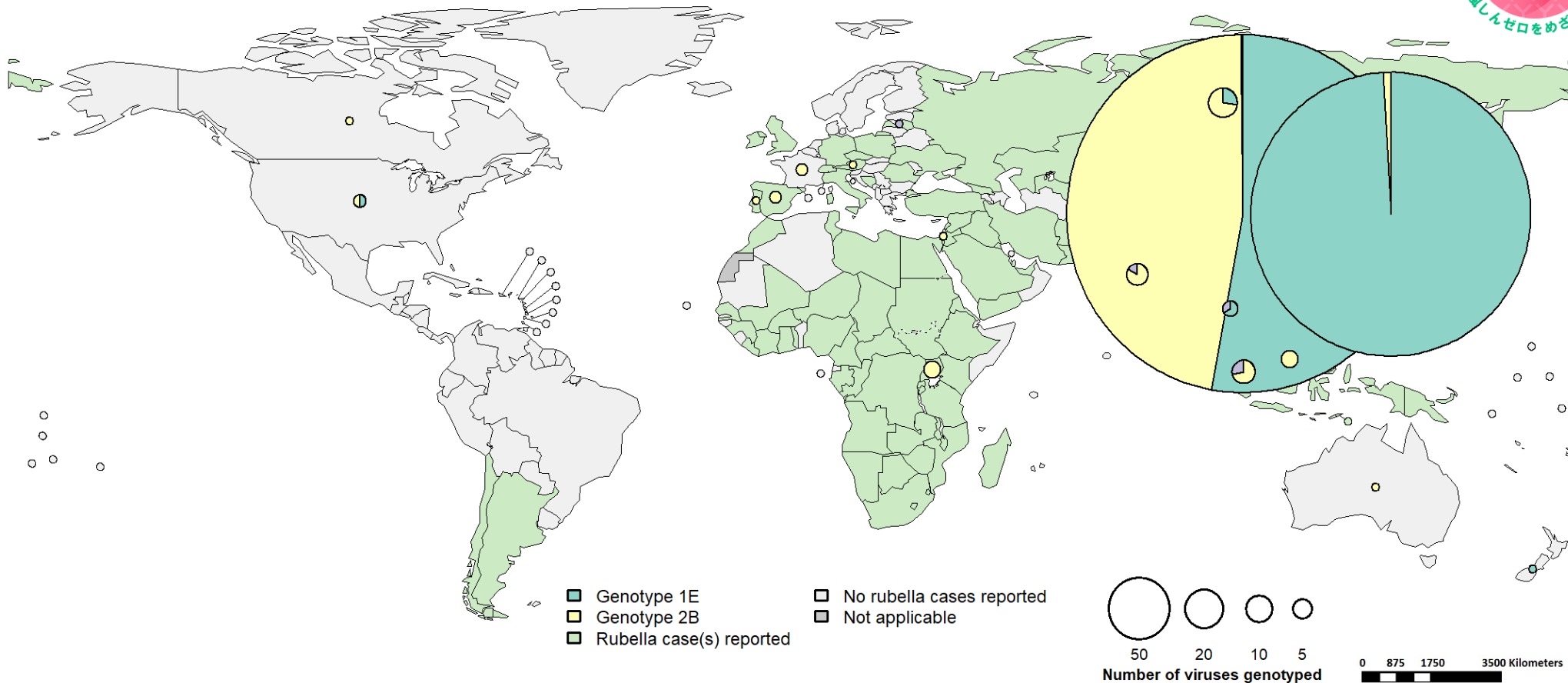
Map production: World Health Organization, WHO, 2019. All rights reserved
Data source: IVB Database

Disclaimer:

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

- Notes: Based on data received 2019-08 and covering the period between 2018-07 and 2019-06 - Incidence: Number of cases / population * * 100,000 - * World population prospects, 2017 revision - ** Countries with the highest number of cases for the period - *** Countries with the highest incidence rates (excluding those already listed in the table above)

Distribution of rubella genotypes ⁴⁷ (8月, 2019: last 12 months)



Map production: World Health Organization, WHO, 2019. All rights reserved
Data source: IVB & RubeNS Databases

Disclaimer:

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.



2018年10月22日、米国CDC 日本の風疹に対してalert level 2



Rubella in Japan

Warning - Level 3, Avoid Nonessential Travel

Alert - Level 2, Practice Enhanced Precautions

Watch - Level 1, Practice Usual Precautions

Key Points

- There is an outbreak of rubella in Japan.
- Travelers to Japan should make sure they are vaccinated against rubella with the MMR (measles, mumps, and rubella) vaccine before travel.
- Rubella is very dangerous for a pregnant woman and her developing baby. Pregnant women who are not protected against rubella through either vaccination or previous rubella infection should not travel to Japan during this outbreak.

職業

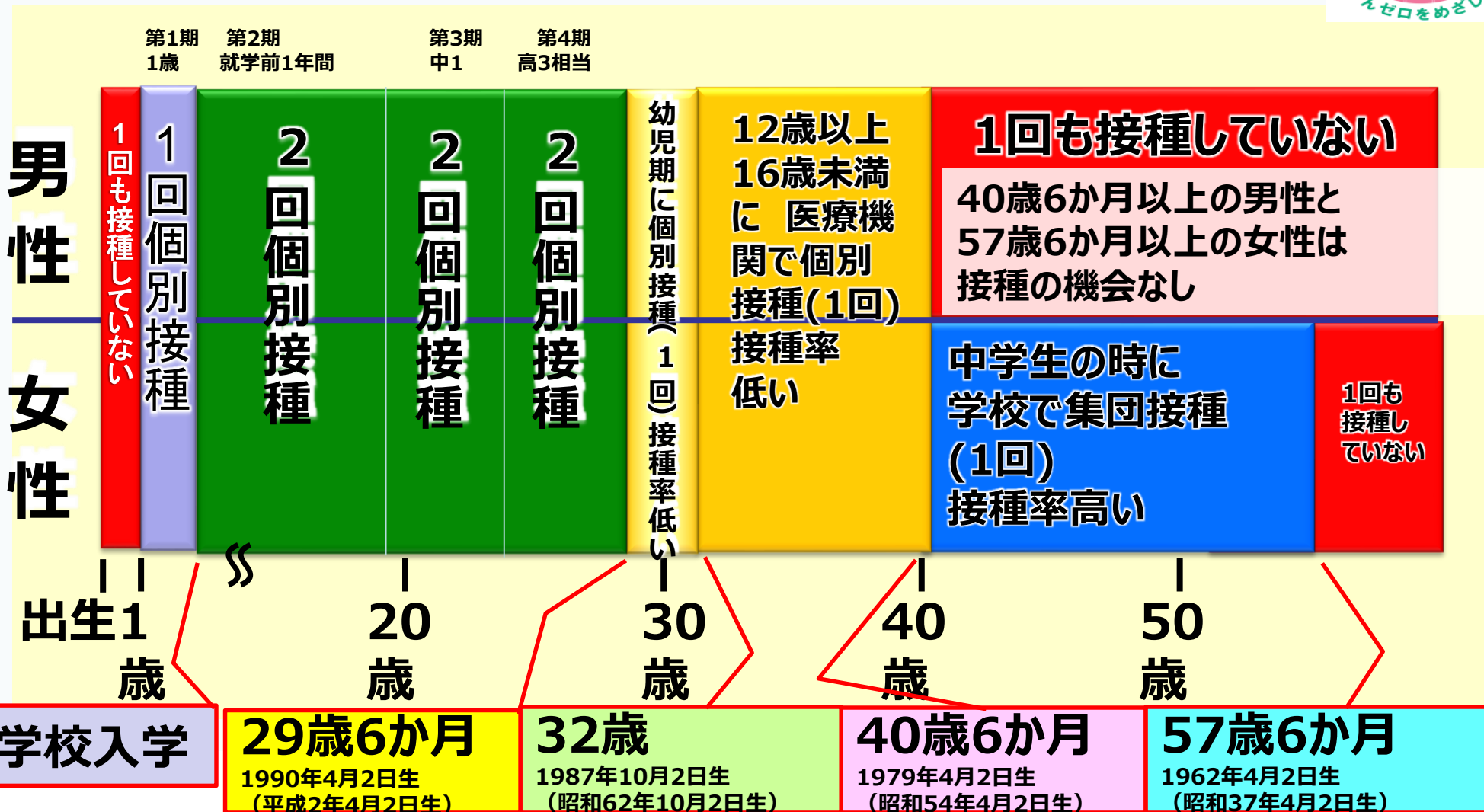
推定感染源



2019年第1～34週：感染症発生動向調査より(n=2,134)

- 会社員と記載されていた人が794人 (37%) と最多
- 特に配慮が必要な職種として、
 - 医療関係者が29人 (看護師8人、医療事務5人、薬局勤務4人、医師3人、看護助手2人、歯科医師1人、薬剤師1人、歯科助手1人、歯科医院勤務1人、検査技師1人、リハビリ職員1人、医療従事者1人)
 - 保育士が13人
 - 教職員が15人
 - 警察官・警察署員が10人
 - 消防士・消防署員が7人
 - 自衛官・自衛隊員が7人
- 記載無しが1,597人 (75%)
- 不明・不詳・情報なし168人 (8%)
- 記載があった男性283人
 - 「職場関連」168人で最多
 - この内21人は、職場内で流行あるいは複数名の発症が記載
 - 次いで、家族30人 (父8人、妻5人、兄3人、母2人、子2人、姉2人、弟2人、妹2人等)
 - 友人・知人23人
- 記載があった女性86人
 - 家族44人 (夫11人、子11人、父4人、兄4人、母3人、妹3人、姉2人、弟1人等) が最多
 - 次いで「職場関連」25人
 - この内2人は、職場内で流行あるいは複数名の発症が記載
 - 友人・知人7人
- 記載があった小児 30人
 - 家族19人 (父8人、母4人、兄4人、妹2人、姉1人) が最多
 - 次に友人・知人6人
 - 職場が2人

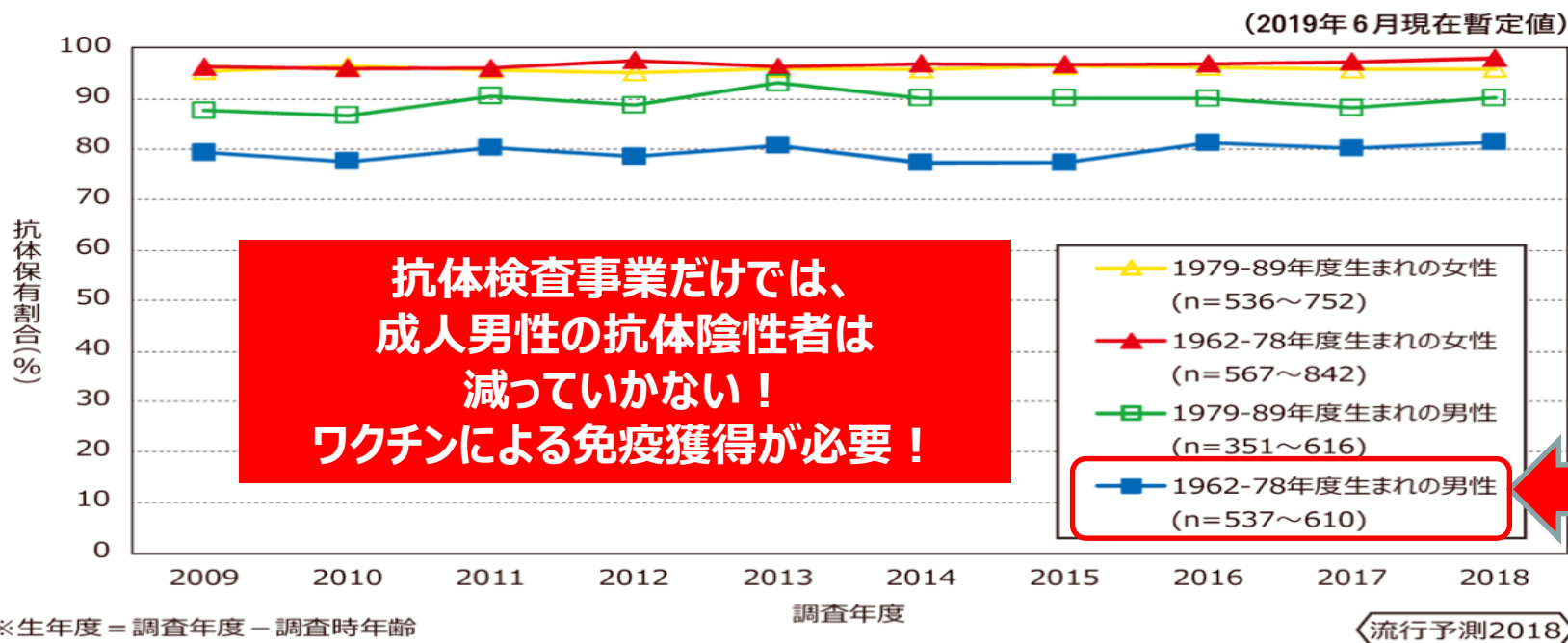
風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係 (令和元(2019)年10月1日時点)





1962-1978年度生まれの男性

感受性者の蓄積：10年間全く変わっていない・・・



第5期定期接種対象に！

図3. 生年度別風疹HI抗体保有状況(抗体価1:8以上)の年度推移—2009~2018年度感染症流行予測調査

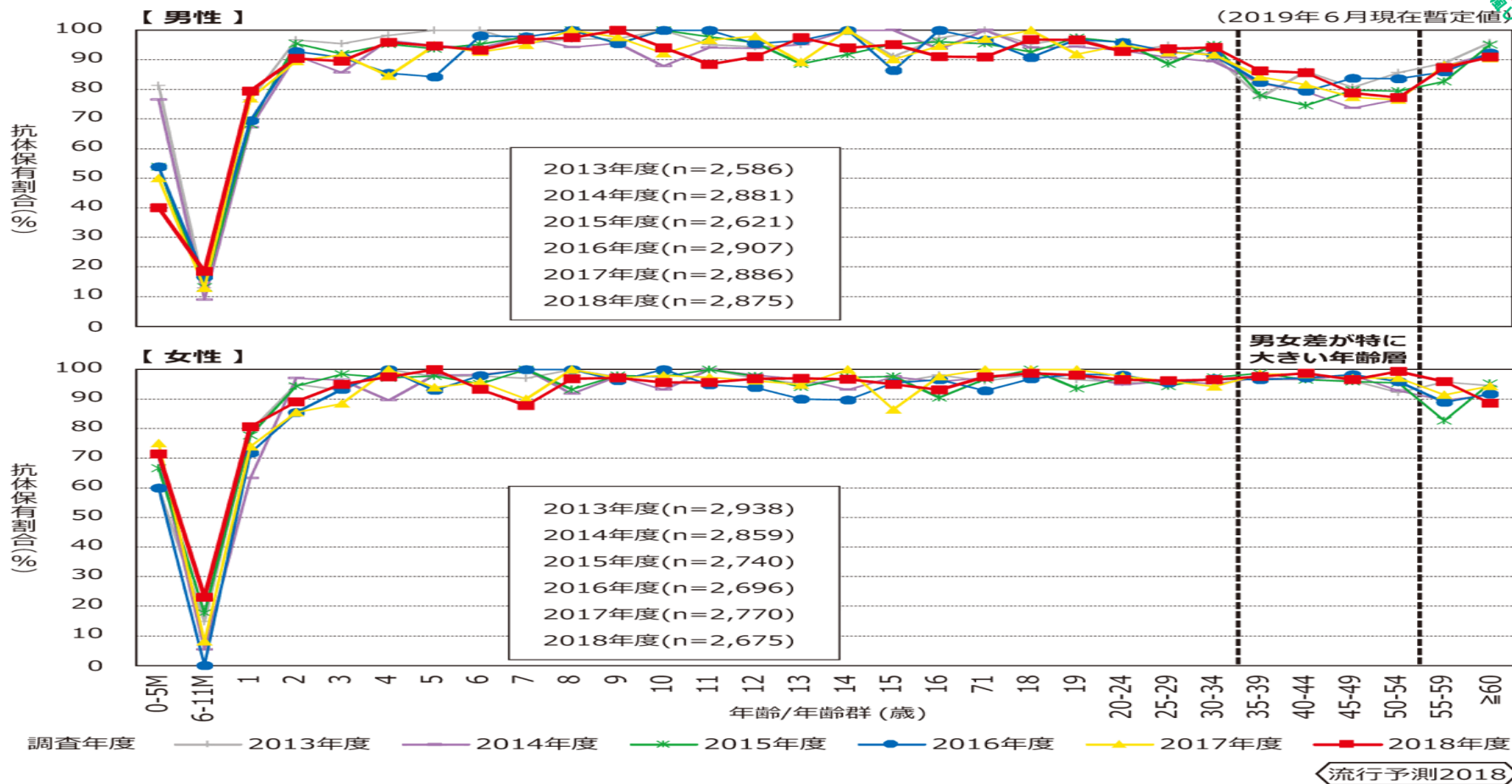
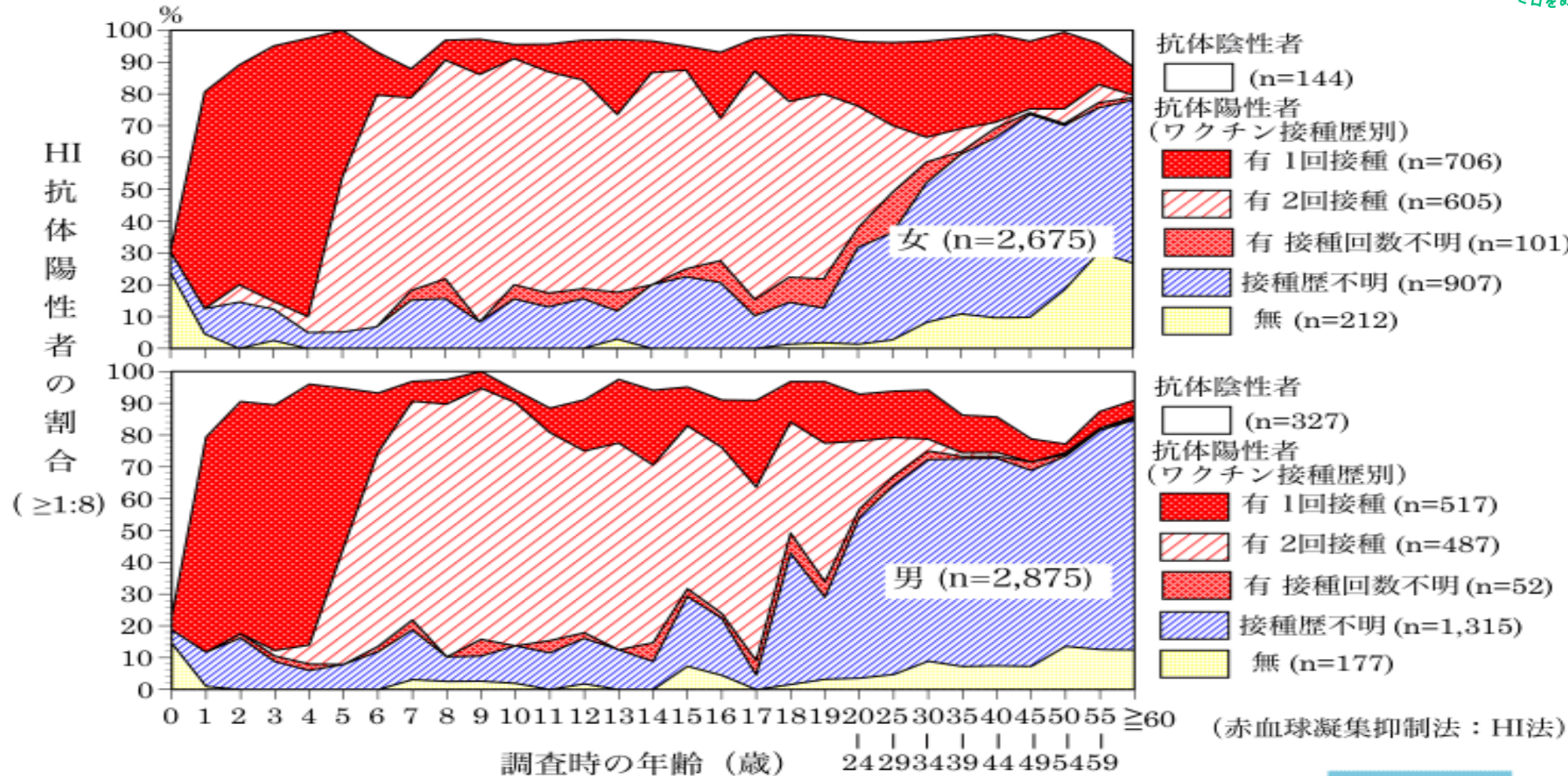


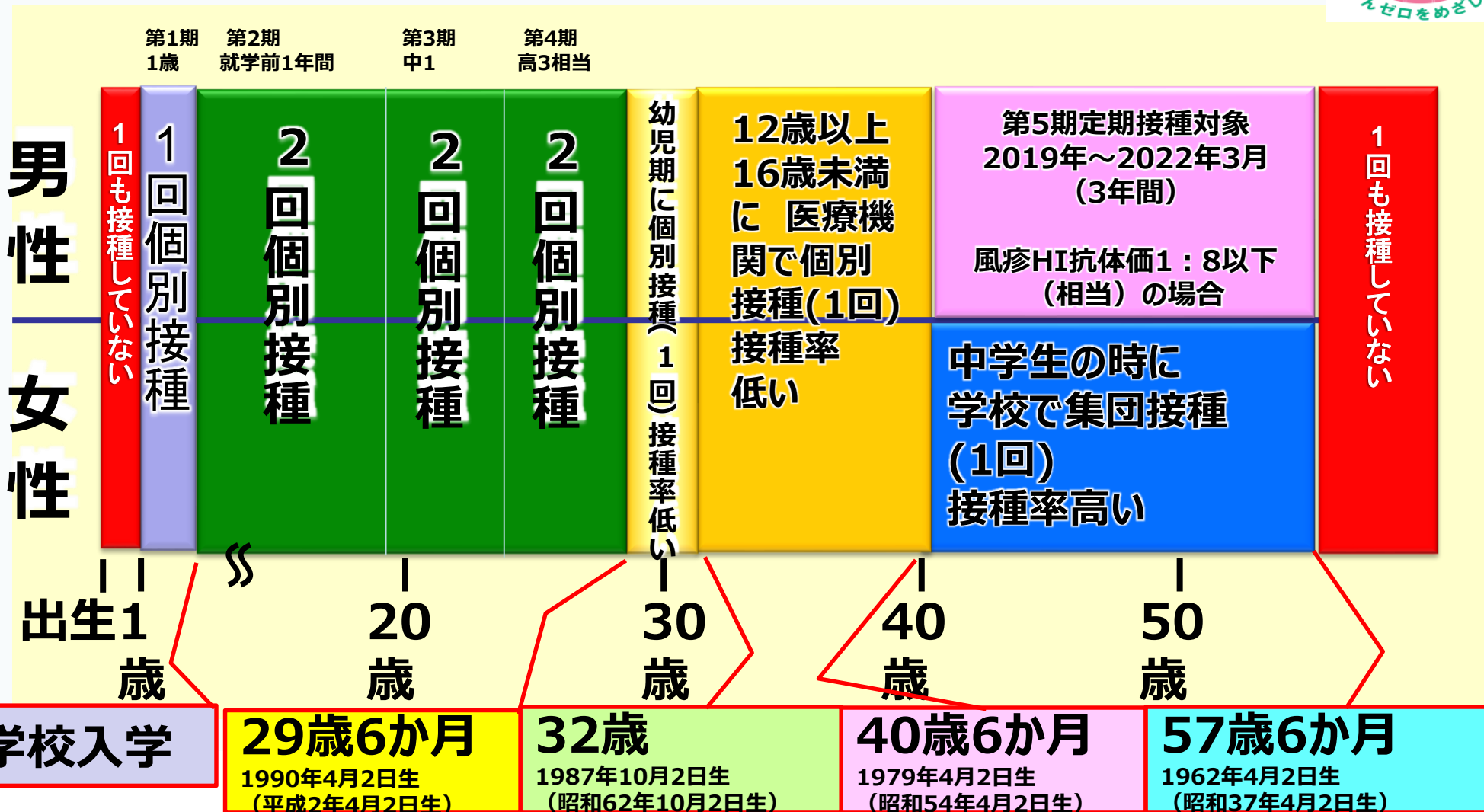
図2. 風疹HI抗体保有状況(抗体価1:8以上)の調査年度別比較—2013~2018年度感染症流行予測調査



図5. 年齢別風疹抗体保有状況, 2018年度 (感染症流行予測調査)



風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係 (令和元(2019)年10月1日時点)





第5期風しん予防接種

- ・風しんワクチンを用いることはできますが、**原則、MRワクチンを使用します。**
- ・なお、**集合契約においては、MRワクチンのみの使用となります。**
- ・ワクチンは現在、増産中で、**2019年秋以降は、継続的にワクチンが追加供給**されます。



【風しんの追加的対策～目標～】

（１） 2020年7月までに、対象世代の男性の抗体保有率を85%に引き上げる

（２） 2021年度末までに、対象世代の男性の抗体保有率を90%に引き上げる

【追加的対策のポイント】

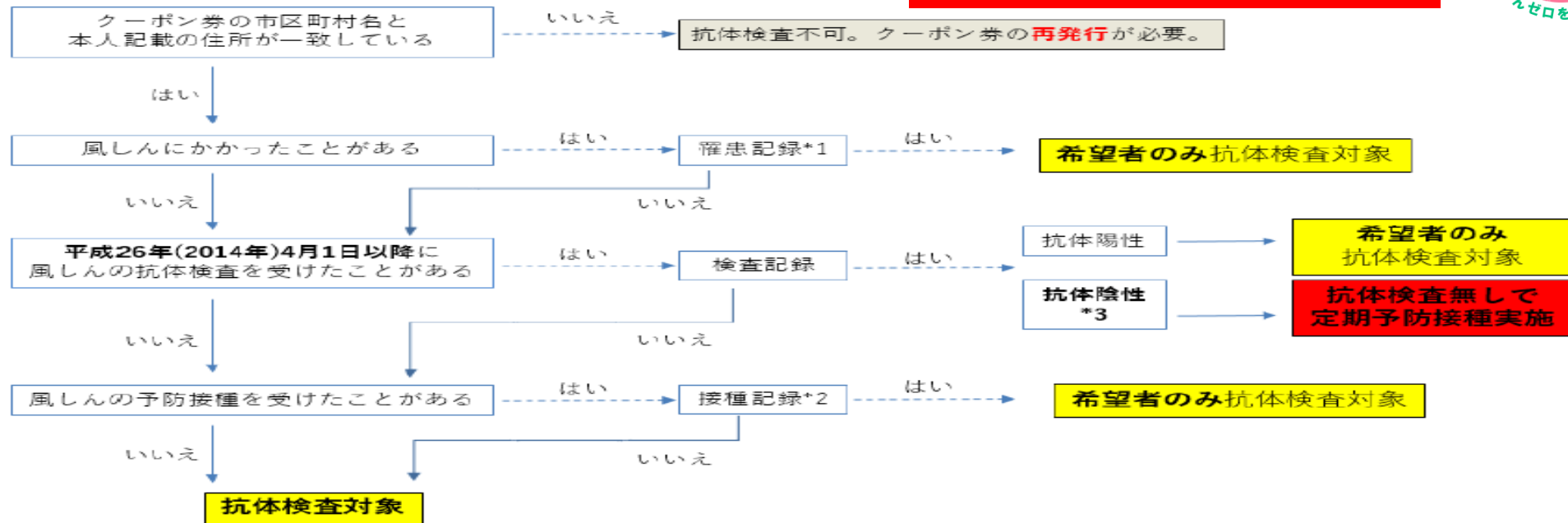
特に抗体保有率が低い、**昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性**に対し、

- 1. 予防接種法に基づく定期接種の対象とし、**3年間、全国で原則無料で定期接種を実施**
- 2. ワクチンの効率的な活用のため、まずは**抗体検査**を受けていただくこととし、補正予算等により、**全国で原則無料で実施**
- 3. **事業所健診の機会に抗体検査**を受けられるようにすることや、**夜間・休日の抗体検査・予防接種の実施**に向け、体制を整備

**不明の場合は「いいえ」
を選択します**



風しんの抗体検査実施フロー



- ・ 「抗体検査を希望しない」に☑ がない
- ・ 個人情報取り扱いに関する同意サインがある

以上確認できたら抗体検査実施可能です

- *1. ウイルス遺伝子検査 (PCR 法) による風しんウイルス遺伝子の検出、ウイルス分離・同定による風しんウイルスの検出、風しん抗体の検出 (IgM 抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意な上昇)。
- *2. 風しんの予防接種とは、風しんワクチン、麻しん・風しん混合ワクチン (MR)、麻しん・風しん・おたふくかぜワクチン (MMR) のいずれかをいう。
- *3. 抗体検査結果が陰性であるとは、本手引き掲載の「風しんの第5期の定期接種の対象となる抗体価基準」を満たすものをいう。

2014年4月1日以降に風しん抗体検査を受けたことがあり、抗体価がHI法で陰性あるいは1:8と低かった場合は、抗体検査なしで第5期定期接種実施可能です。

既に罹ったと思い込んでいる人こそ、クーポン券を使って抗体検査を受けて、本当に風しんであったかを確認してください。

風しんは罹ったと思っても、半分か風しんではなかったという研究報告があります。風しんは似た病気が多くあります。

既に風しんのワクチンを受けたことがあるから大丈夫と思っている人も、是非、クーポン券を使って抗体検査を受けてください。免疫がついていない人が一部います。

今なら、全国どこでも無料で抗体検査と予防接種を受けることができます。住所地以外の自治体でも、クーポン券を持っていれば、検査・接種可能です。

クーポン券の有効期限は来年の3月31日までです。



風しん第5期定期接種

- 2014年4月1日以降に風疹抗体検査を受けたことがあり、抗体価がHI法で陰性あるいは1:8と低かった場合は、抗体検査なしで第5期定期接種実施可能。
- 既に罹ったと思い込んでいる人こそ、クーポン券を使って抗体検査を受けて、本当に風疹であったかを確認して欲しい。
- 風疹は罹ったと思っけていても、半分以上が風疹ではなかったという研究報告がある。
- 風疹は似た病気が多くある。
- 既に風疹のワクチンを受けたことがあるから大丈夫と思っている人も、是非、クーポン券を使って抗体検査を受けて欲しい。免疫がついていない人が一部いる。
- クーポン券を持っていれば、全国どこでも無料で抗体検査と予防接種を受けることができる。
- クーポン券の有効期限は来年の3月31日まで。



風疹抗体価の読み替え

すべての国内市販キットで検討



第5期風疹定期接種対象

(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性)

各測定法におけるHI抗体価「1:8以下」に相当する抗体価(182検体*での解析結果)

※エンザイグノストは181検体での解析結果
BioPlexは178検体での解析結果

測定キット名(製造販売元)	測定原理	抗体価の単位	抗体価
ウイルス抗体EIA「生研」ルベラIgG (デンカ生研株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	EIA価	6.0未満
バイダス アッセイキット RUB IgG (シスメックス・バイオメリュー株式会社)	蛍光酵素免疫法 (ELFA法)	国際単位 (IU/mL)	25未満
エンザイグノスト B 風疹/IgG (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	国際単位 (IU/mL)	15未満
ランピア ラテックス RUBELLA (極東製薬工業株式会社)	ラテックス免疫比濁法 (LTI法)	国際単位 (IU/mL)	15未満
アクセス ルベラIgG (ベックマン・コールター株式会社)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	国際単位 (IU/mL)	20未満
i-アッセイCL 風疹IgG (株式会社保健科学西日本)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	抗体価	11未満
BioPlex MMRV IgG (バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社)	蛍光免疫測定法 (FIA法)	抗体価 (AI*) <small>*AI:製造企業が独自に 調整した抗体価単位</small>	1.5未満
BioPlex ToRC IgG (バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社)	蛍光免疫測定法 (FIA法)	国際単位 (IU/mL)	15未満



医療関係者や妊娠希望女性など

【参考】各測定法における**HI抗体価「1:16以下」**に相当する抗体価

※検討結果の詳細は以下を参照してください

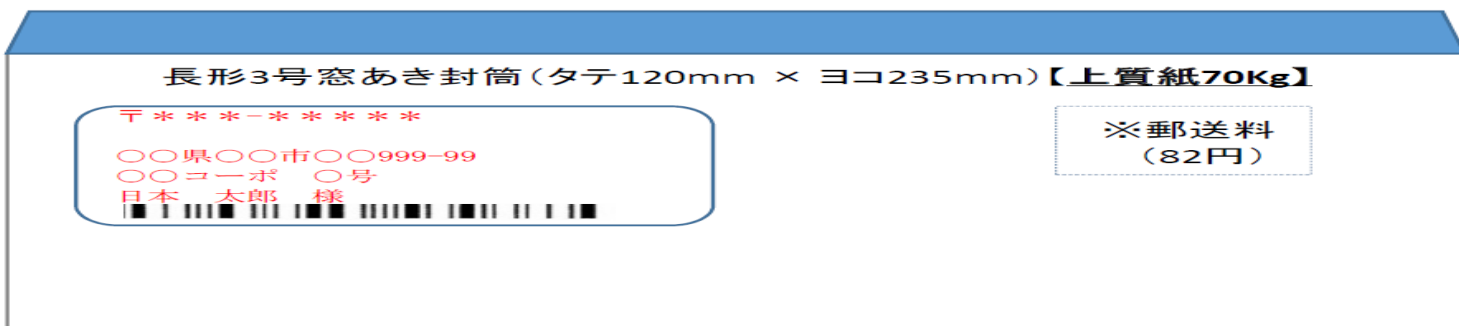
[https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/RubellaHI-EIAtiter_Ver3.pdf]

測定キット名（製造販売元）	測定原理	抗体価の単位	抗体価
ウイルス抗体EIA「生研」ルベラIgG (デンカ生研株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	EIA価	8.0 未満
バイダス アッセイキット RUB IgG (シスメックス・ピオメリユー株式会社)	蛍光酵素免疫法 (ELFA法)	国際単位 (IU/mL)	45 未満
エンザイグノスト B 風疹/IgG (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	国際単位 (IU/mL)	30 未満
ランピア ラテックス RUBELLA (極東製薬工業株式会社)	ラテックス免疫比濁法 (LTI法)	国際単位 (IU/mL)	30 未満
アクセス ルベラIgG (ベックマン・コールター株式会社)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	国際単位 (IU/mL)	45 未満
i-アッセイCL 風疹IgG (株式会社保健科学西日本)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	抗体価	14 未満
BioPlex MMRV IgG (バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社)	蛍光免疫測定法 (FIA法)	抗体価 (AI*) <small>* AI: 製造企業が独自に調整した抗体価単位</small>	3.0 未満
BioPlex ToRC IgG (バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社)	蛍光免疫測定法 (FIA法)	国際単位 (IU/mL)	30 未満



クーポン券 (イメージ)

長形3号封筒 + 送付状 (統一様式) + クーポン券様式



引っ越して
住所が変わっ
ていると使え
ません。
再発行が必要。

抗体検査	券種	抗体検査券	1
	請求先	〇〇県〇〇市	123456
	発券No	0123456789	有効期限2020年03月
(氏名)一三四五六七八九十一二三四五六七八九十 12345678901234567 (国保連提出用)			
予防接種予診のみ	券種	予防接種予診券(予診のみ)	2
	請求先	〇〇県〇〇市	123456
	予診費用 (税抜)	9,999 円(自己負担分を除く)	
自己負担額 (税抜) 0 円 発券No 0123456789 有効期限2020年03月 (氏名)一三四五六七八九十一二三四五六七八九十 12345678901234567999999 (国保連提出用)			
予防接種	券種	予防接種券	3
	請求先	〇〇県〇〇市	123456
	接種費用 (税抜)	9,999 円(自己負担分を除く)	
自己負担額 (税抜) 0 円 発券No 0123456789 有効期限2020年03月 (氏名)一三四五六七八九十一二三四五六七八九十 12345678901234567999999 (国保連提出用)			
(氏名)一三四五六七八九十一二三四五六七八九十 12345678901234567 (医療機関控え)			
(氏名)一三四五六七八九十一二三四五六七八九十 12345678901234567999999 (ご本人控え)			
券種 予防接種券(兼 予防接種済証) 3			
請求先 〇〇県〇〇市 123456			
接種費用 (税抜) 9,999 円(自己負担分を除く)			
自己負担額 (税抜) 0 円			
発券No 0123456789 有効期限2020年03月			
(氏名)一三四五六七八九十一二三四五六七八九十 12345678901234567999999 (ご本人控え)			
〇〇県〇〇市長 〇〇〇〇			



厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 基本方針部会 2019年8月7日開催

風しん追加的対策の実施方法について

【対象】 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性

- 【目標】 ①2020年7月までに、対象世代の男性の抗体保有率を85%に引き上げる
②2021年度末までに、対象世代の男性の抗体保有率を90%に引き上げる

【実施方法】

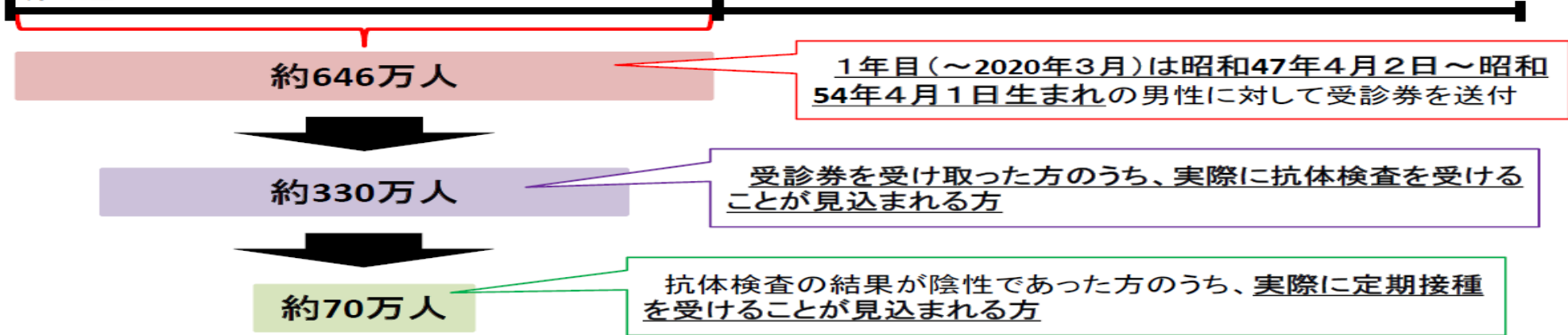
- 対象者に対しては、市町村から受診券を送付し、抗体検査の受検を積極的に案内する。
- 受診券の送付については、今後3年間の抗体検査の受検目標を効率的に達成するため、3か年計画で、段階的に行う。
※ 事業開始当初に受検希望者が集中した場合、短期的な供給不足が生じ、医療機関や対象者に混乱が生じる懸念がある。
- 1年目（～2020年3月）は、まずは昭和47年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた（約646万人）男性に対して受診券を送付する。
- 2020年3月までにこの世代の男性に抗体検査・定期接種を受けていただき、4月以降更に対策を進めることにより、2020年7月までに抗体保有率85%の目標を目指す。
- なお、1年目に市町村から受診券を送付しない昭和37年4月2日から昭和47年4月1日の間に生まれた男性についても、市町村に希望すれば、受診券を発行し抗体検査を受検できることとする。
※ 施行に当たっては、事務手続に関する手引き（ガイドライン）を自治体に示し、丁寧に説明。

【初年度（2019年度）における取組】

昭和54年4月1日生

昭和47年4月2日生

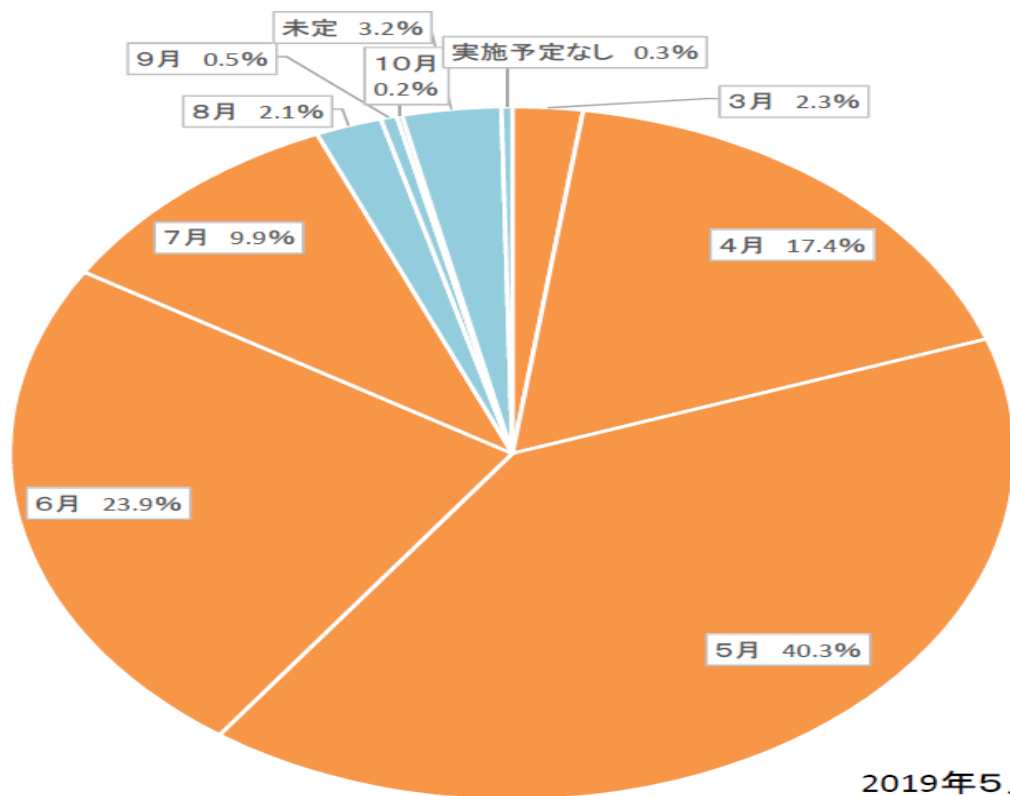
昭和37年4月2日生





厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 基本方針部会 2019年8月7日開催

各市区町村の受診券配布(予定)状況



月	受診券配布 市区町村の割合
2019年 3月まで	2.3%
4月まで	19.6%
5月まで	59.9%
6月まで	83.8%
7月まで	93.6%

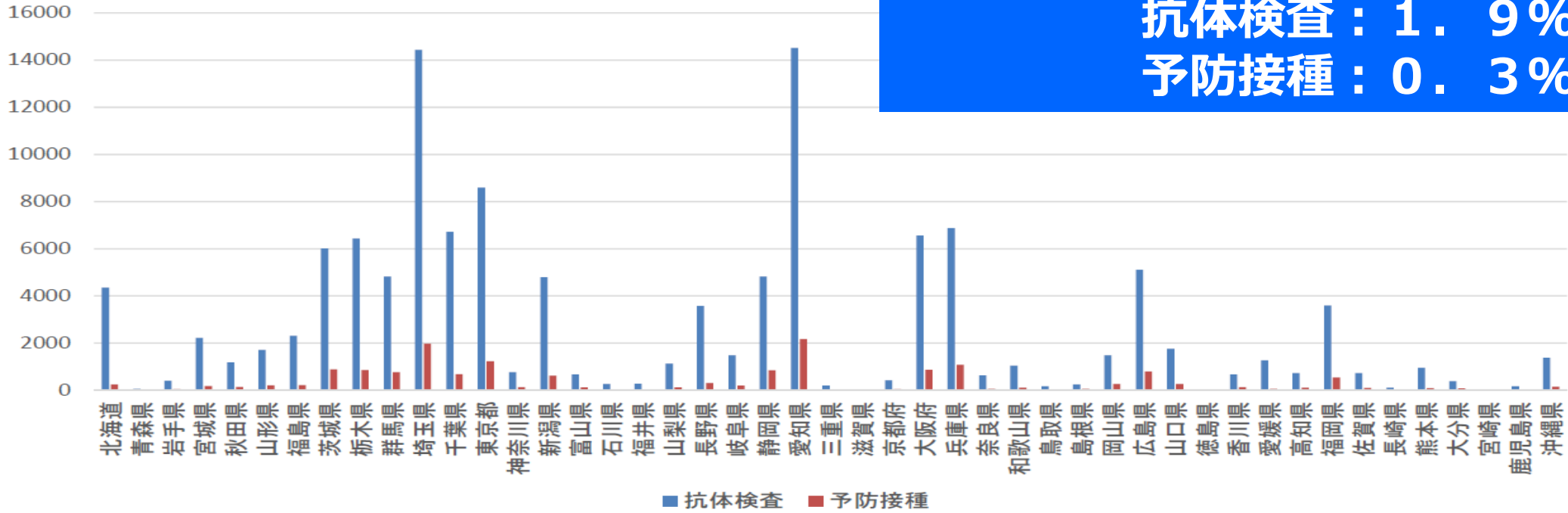
2019年5月に厚生労働省から全国1741市区町村へ聞き取り
(1731市区町村が回答)



厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 基本方針部会 2019年8月7日開催

2019年4月、5月の抗体検査・予防接種実績

クーポン券発送者数 約646万人
抗体検査：1.9%
予防接種：0.3%



**これでは風疹排除は達成できません。対象年齢の男性にお願いします。
 クーポン券持って、医療機関を受診してください！！**

抗体検査	125,859件
予防接種	16,672件

※クーポン券を利用した件数(国保連が処理した実績件数) 10

ねー
母さん

「先天性風しん症候群」
って知ってる？



風しんの予防接種を 受けよう！

—赤ちゃんを
守るために—

国立感染症研究所
感染症疫学センター

なあに
それ？

カチッ

ホラ
これ



#止めるぞ_風しん

対象: 1962 (昭和37) 年4月2日～1979 (昭和54) 年4月1日生まれの男性の皆様

・ 無料抗体検査クーポンが届きましたら、健康診断の機会などで、**抗体検査**をお願いします



あなたが
風しんに



あなたが
苦しい
だけでなく



風しん
拡散



妊婦さん
感染



赤ちゃんが
障がいをもって
生まれる可能性が
あります

One for all,

ひとはみんなのために、
みんなはひとりのために

all for one

トライなんてさせない
タックルで止める

感染なんてさせない
ワクチンで止める



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

風しん 厚生労働省



風しん
注意報
発令

風しんの予防接種で 未来の赤ちゃんを守れます

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気があある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

女性は
妊娠前に

風しんの予防接種を
ご検討ください

接種後2ヵ月は避妊が必要です
接種回数は子どもの頃の接種を含め2回です

成人男性は

風しんにかかったことがない方
風しんワクチンを受けていない方
どちらも不明の方 ▼

接種することをご検討ください
2回接種しても問題はありません

妊娠中の
女性の家族は

風しんの予防接種を
ご検討ください

妊婦は風しんの予防接種を受けられません
1歳児(第1期)、小学生入学前7年間(第2期)は
麻しん風しん混合ワクチンの定期接種を受けましょう

point

今は成人に多い病気で、特に10代後半～50代前半の男性、
10代後半から30代前半の女性が多く発病しています

point

特に昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年
4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした

point

風しんの予防接種は、ほしか(麻しん)と一緒に予防できる
麻しん風しん混合(MR)ワクチンでうけることをおすすめします

厚生労働省／国立感染症研究所／社団法人日本医師会／公益社団法人日本産科婦人科学会／公益社団法人日本産婦人科医会／公益社団法人日本小児科学会／一般社団法人日本小児科医会／公益社団法人日本小児保健協会／一般社団法人日本感染症学会／日本ウイルス学会／一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会／一般社団法人日本保育園保健協議会／日本渡航医学会／日本環境感染症学会／一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会／日本ワクチン学会

お問い合わせ先 厚生労働省健康局結核感染症課 TEL. 03-5253-1111 (代)
国立感染症研究所感染症情報センター TEL. 03-5285-1111 (代)

妊娠中は
風しんの予防接種を
受けることは
できません

風疹と先天性風疹症候群 はワクチンで予防できる病気です あなたは風疹の予防 すませていますか？



2019年～2022年3月 の約3年間、 昭和37年4月2日～ 昭和54年4月1日生まれの 男性はHI法で1:8以下（相当） なら定期接種（A類疾病） としてMRワクチン接種 ができます

- Infectious Disease Surveillance Center

- Keiko Tanaka-Taya
- Hajime Kamiya
- Tomimasa Sunagawa
- Katsuhiko Komase
- Satoru Arai
- Hiroshi Satoh
- Saeko Morino
- Reiko Shinbashi
- Tomoe Shimada
- Yuichiro Yahata
- Takuri Takahashi
- Yuuki Tsuchihashi
- Tamano Matsui
- FETP members
- Motoi Suzuki

- Department of Virology III

- Yoshio Mori
- Yuichiro Nakatsu
- Masafumi Sakata
- Noriyuki Otsuki
- Kenji Someya
- Fumio Seki
- Koji Sakai
- Maino Tahara
- Makoto Takeda



ご清聴ありがとうございました。

